

ブラザー編機 **Jリイ** 正しい使い方  
《KH-821型》

★お買い上げ誠にありがとうございました。

ブラザー編機バリエ<821>の素晴らしい機能とその正しい使い方をご理解いただくために、まずこの説明書をご覧下さいますようお願い申し上げます。

## 編機講習整理券の使い方

この説明書には講習整理券が8枚（うち2枚は教室専用講習券）ついています。次の基準により、販売した店が責任をもって講習を行いますのでご利用下さい。

- ① 受講された場合の整理に使用しますので、ご署名のうえ、1枚ずつ切取って教室へお渡し下さい。
- ② 教室で講習を受けられる場合は8回の講習が受けられます。
- ③ 出張講習を受けられる場合は、1回につき講習券2枚お渡し下さい。出張講習は3回で終了しますが、あとの2枚（教室専用講習券）は教室でお使い下さい。
- ④ 講習券は、6枚を基準として、下記のように、一通りの講習が終るようになっています。あとの教室専用講習券はまとめとして、都合のよい日に最寄りの教室にて自由にご利用下さい。

### 編機講習整理券による講習基準

この講習基準は、教室における、6回講習（1回約2時間～3時間）を基準としています。出張講習による3回講習の場合は、時間に制約がありますので、この説明書をよくご理解いただき、講師の説明に従って事前準備と、予習、復習をお願いいたします。

教室講習 の回数	出張講習 の回数	講 習 基 準 内 容
1	1	1. 編機取扱い方の説明 2. 編機の組立て方と各装置・ニットリーダーの取扱い基本操作の練習 3. 編機のしまい方
2 3 4	2	4. 編みゲージの取り方手順の説明 5. 製図の決定（パターンを選択と写し方）説明 6. 作品を編む準備と作製の手順説明
5 6	3	7. とじ、はぎ、まとめと仕上げ手順の説明 8. 取扱い方と模様の編み方説明 9. 独習要領の説明 10. 総まとめ
7 8		11. 以上終了後、解らない所がありましたら7.8.の講習券を持って教室へお出かけ下さい。

# 目 次

各部のなまえとはたらき	1
キャリジ	1
本体・ニットリーダー	2
付属品	3
本機の組み立て方	4
本機のしまい方	6
編む前の知識（編針の位置）	8
編み始め方	9
ニットリーダーの使い方	11
ニットリーダーの取り付け方	11
ニットリーダーの取り外し方	12
編ゲージとは	13
編ゲージの作り方	13
編ゲージの計り方	15
編ゲージのセット方法	16
製図の写し方	16
編目スケール目盛の読み方	17
模様編の編み方	18
パンチカードと編針の関係	18
パンチカードのセット方法	19
模様編の準備	20
タック編	21
配色タック編	23
糸口糸の切り替え方	23
すべり目編	24
配色すべり目編	25
同時編込模様	25
スレッド編	29
糸調子の取り方	29
スレッド糸の切り替え方	29
Lキャリジの使い方	32
レース編の準備	34

レース編	35
模様編を編み間違えたときの直し方	36
レース編を編み間違えた時の直し方	37
編出シを使わないで編始める方法	37
知っておきたいことがら	38
編地の表と裏	38
編み間違えたときのニットリーダーの取り扱いと正しい直し方	38
編んでいる途中でキャリジが動かなくなったとき	38
編地のほどこき方	38
Kキャリジを空送りしたいとき	39
編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったとき	39
間違っ選針されたとき	40
編針が曲ったとき	40
編目スケールの段数への応用	40
各種模様の引返し編	41
1. 平編の引返し編	41
2. 総タック編の引返し編	42
3. 同時編込模様、すべり目編、スレッド編の引返し編	43
4. レース編の引返し編	44
編目の移し方・減らし目・増し目	45
1. ウツシの使い方	45
2. 減らし目	45
3. 増し目	45
4. 1目ゴム編	46
手入れと保存	47
注 油	47
保 存	47
編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表	48

# 各部のなまえとはたらき …… キャリジ

## 編目ダイヤル

使う毛糸の太さに応じて編目の大きさを調節する役目します。数字が大きいくほど編まれる編目はあらかります。

### 標準目盛

使用毛糸	目盛
細糸	0～3
合細	3～4
中細	4～6
並太	6～9
極太	9～10

数字または点を▼印に合わせます。

## カムボタン

模様編のときに使うボタンです。カムを切替えて編針の通路を変える役目します。ボタンは押された位置に止まります。2つのボタンを押すときは2つ同時に押して下さい。

## 糸口

地糸口……編糸を入れて編みます。色糸口……同時編の時、配色糸を入れて編みます。

## 選針切替ツマミ

「平編・レース編」、「模様編」の位置があります。

## 引返シレバー

編針の通路を変える役目します。

## キャリジ外シレバー

編んでいるときにキャリジを外す役目します。

## 作動レバー

送りレバーを動かす役目します。

## ハンドル

## ヒラアミレバー

カムボタンを戻す役目します。

## 糸案内

スレッド編のときにスレッド糸を入れて編む糸口です。

## スレッドレバー

スレッド位置とヒラアミ位置があり、スレッド位置にしてスレッド編をします。

## 編地押エツマミ

編地押エを締めつける役目します。

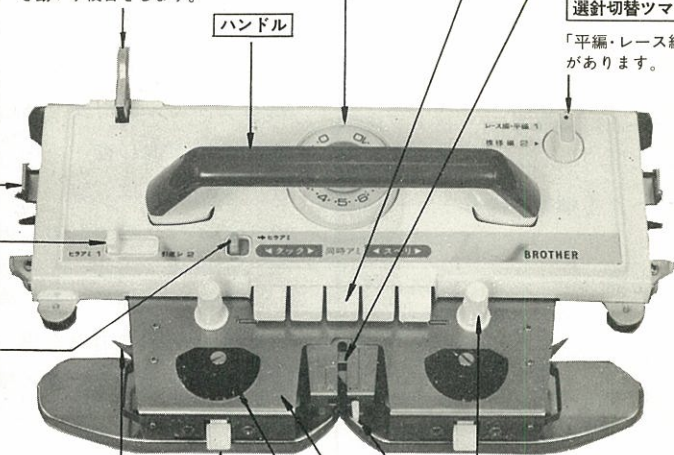
## 糸ロレバー

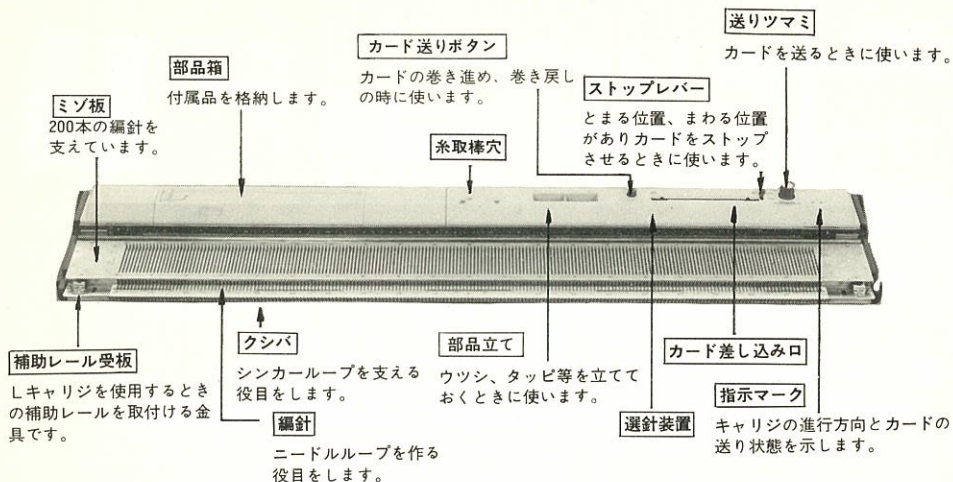
## 編地押え

編地浮き上り防止の役目します。

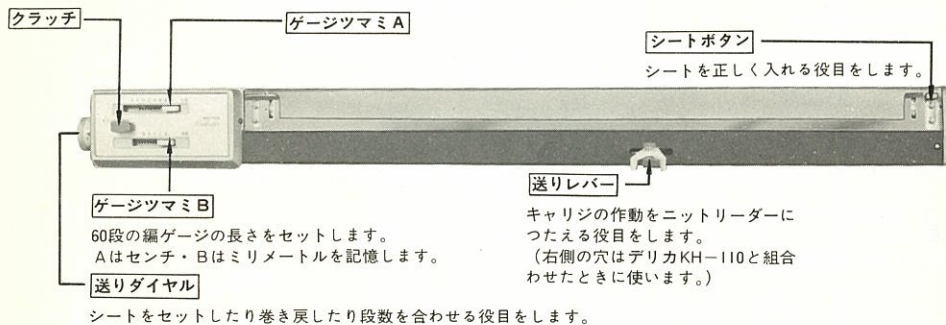
## スレッドハケ車

スレッド編に使うハケ車です。





.....ニットリーダー



シートを支える役目をします。



ニットリーダーを編機に取り付けるときに使います。



付 属 品

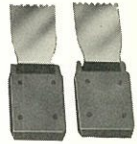
糸取装置

編糸の供給を自動的に調節します。



カラーウエイト

模様編を編むときに使うオモリです。



補助レール

レース編を編むときに使い、Lキャリジ落下防止の役目をします。



模様板



編出し

編出しを行なうときに使います。



タッピ

ゴム編、ガーター編に使います。



針袋



ウツシ2×3  
ウツシ1×3

減らし目・増し目などを行なうときに使います。

編針(予備)



キャリジ止メ金

カギ針

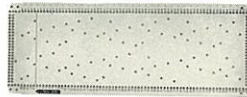
端目、飾りに使います。



抜き糸

編出し、捨て編の区切に使います。

パンチカードNo.1B~No.20B



キャリジをミン板上に固定するときに使います。

油差し



Lキャリジ

自動目移し装置です。レース編に使います。



取付金具

編機を机に固定する時に使います。



手バケ



パラフィン



スナップ



カード支エ



パラフィンケース

名札



フック

ベラ

バット



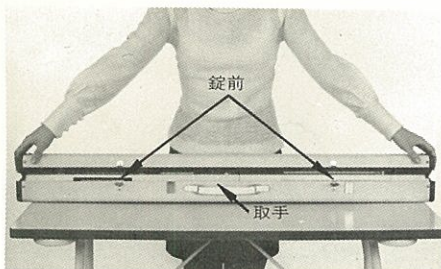
ステム

シャンク

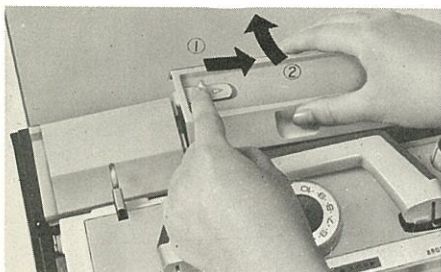
トジワイヤー

ミシン縫製のとき、編地の端をかがるのに使います。

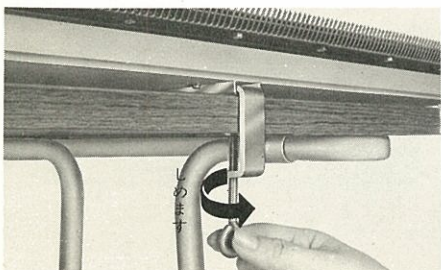
# 本機の組み立て方



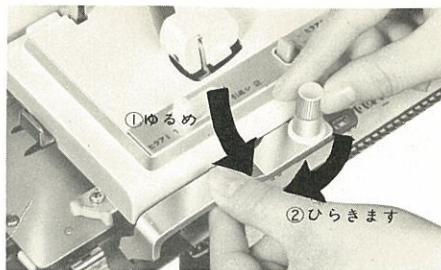
(1) 錠前を2個共はずし、写真のようにケースの取手側を持ち上げ、手前に引き、はずします。



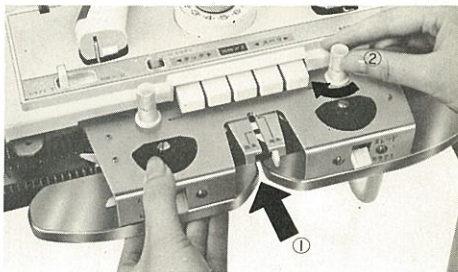
(2) ツマミを矢印方向へ押し、フタを開きます。



(3) 部品箱から取付金具2個を取り出ししテーブルに固定します。

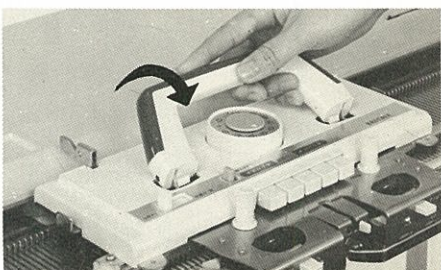


(4) キャリジ止め金を外します。

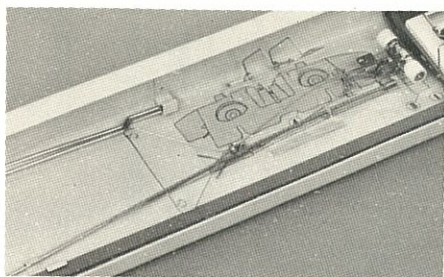


(5)イ. ケースフタから編地押エを取り出します。

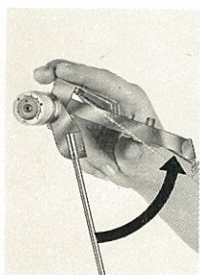
ロ. キャリジの編地押エつまみをゆるめてから、編地押エをつまミの下に差し込み、締め付けます。



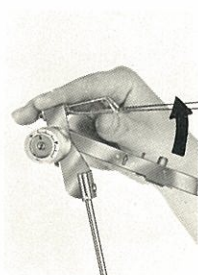
(6) ハンドルを手前に起こします。



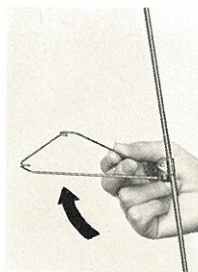
(7) ケースフタから糸取装置を取り出します。



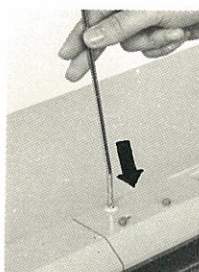
(8) 前糸案内を矢印方向に開きます。



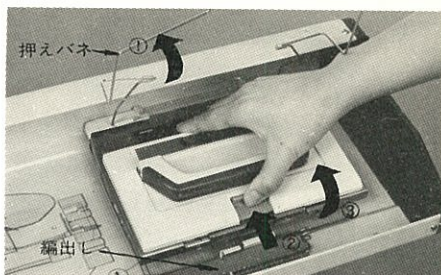
(9) 糸取バネを“カチッ”と音のするまで回します。



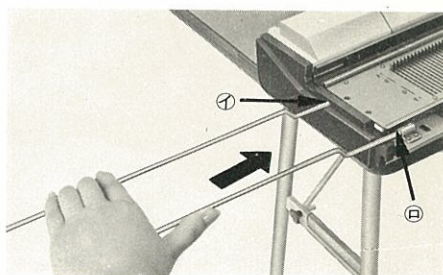
(10) 後糸案内をとまるまで開きます。



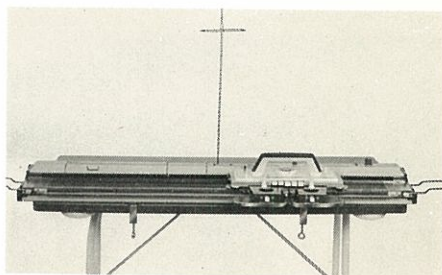
(11) 糸取棒を糸取棒穴に差し込みます。



(12イ. ケースフタにある押えバネをはずし、外シボタンを押しながらLキャリジを取り出します。  
ロ. ハンドルを手前に起こします。  
ハ. ケースフタから編出しを取り出します。



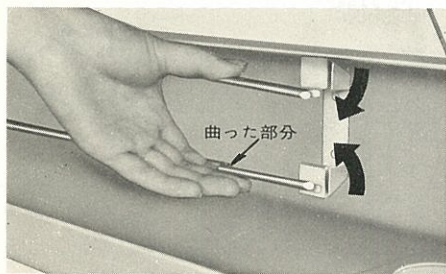
(13イ. 補助レールをケースフタから取り出します。  
ロ. 補助レールを写真①と②の部分に差し込み取り付けます。



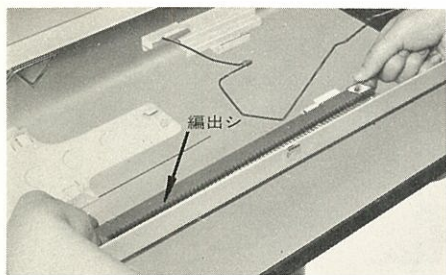
(14) 本機を組み立てた状態を示します。



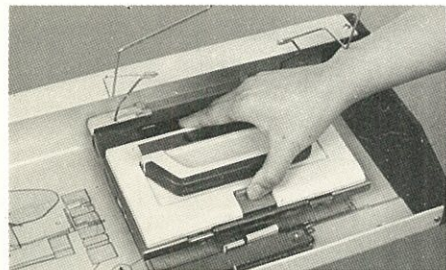
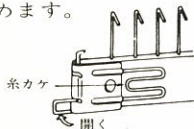
# 本機のしまい方



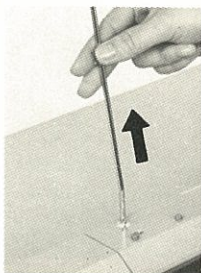
(1) 補助レールを編機から抜き取り、2本揃えて、両端の曲った部分を手前にして納めます。



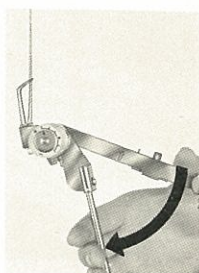
(2) ケースの部品押エバネを2個共開き編出シを糸カケが下向きになるようにして、ケースに納めます。



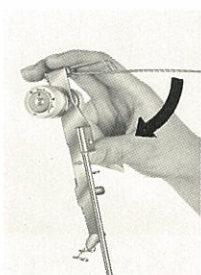
(3) Lキャリジのハンドルを倒し、Lキャリジを外シボタンを押しながらケースに納め、部品押エバネをかけます。



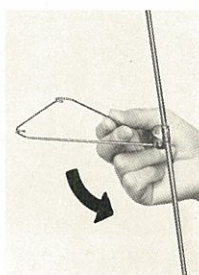
(4) 糸取棒を取り外します。



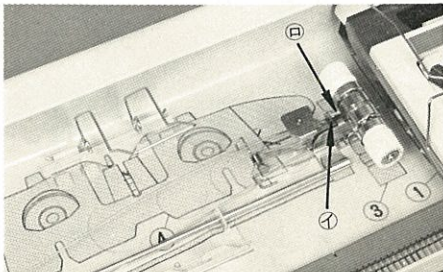
(5) 前糸案内を閉じます。



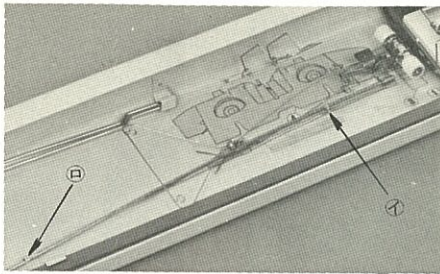
(6) 糸取バネを閉じます。



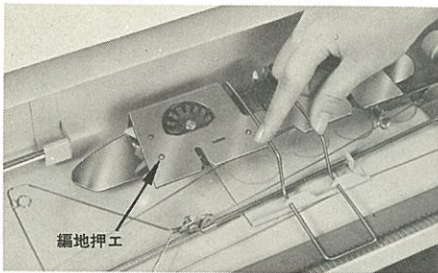
(7) 後糸案内を閉じます。



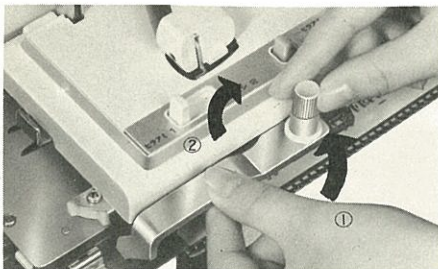
(8) 糸取装置頭部の①部をケースの金具②の下にはめ込み、ケースの絵③のところに納めます。



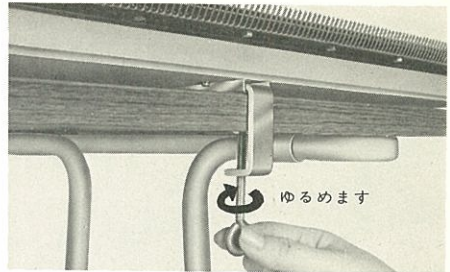
- (9) 糸取棒と糸取バネを編出しに添わせケースの金具④の下にはめ込み、ケースの金具㊦の手前側を通します。



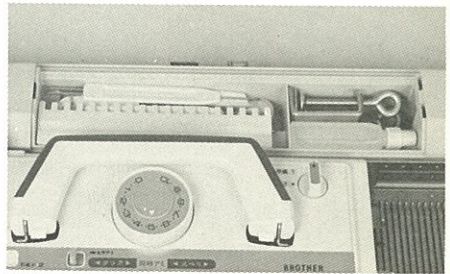
- (10) 編地押エを、ケースの絵の④の上に正しくのせ、押エバネをかけます。



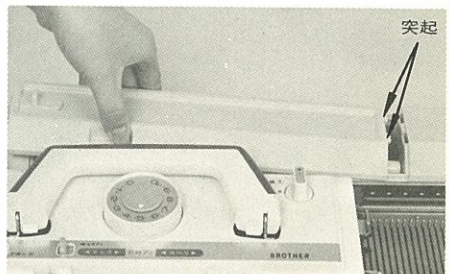
- (11) イ. キャリジのハンドルを倒し、写真の位置に置きます。  
 ロ. キャリジ止め金を、ミゾ板左端の穴に入れます。  
 ハ. キャリジ止め金のカギ部をツマミ締ネジにかけて、ツマミで締めつけ固定します。



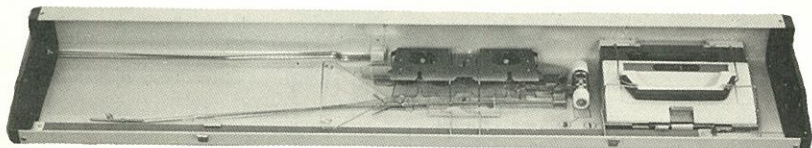
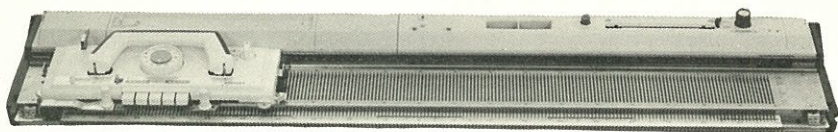
- (12) 左右の取付金具締ネジをゆるめ、手前に引いてはずします。



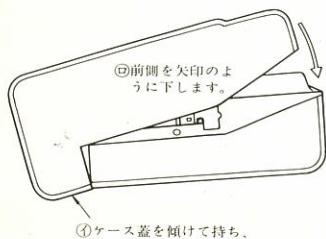
- (13) カラーウェイト、油差シ、取付金具などの付属品を写真のように、部品箱に納めます。



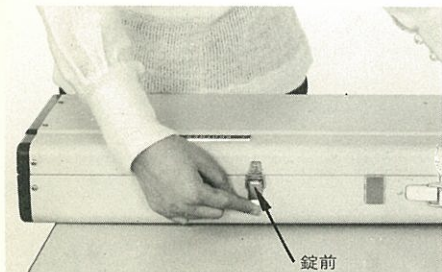
- (14) フタの2個の突起を部品箱の右側の穴に差し込み、フタを閉じます。



- (15) 本体とケースの状態を示します。

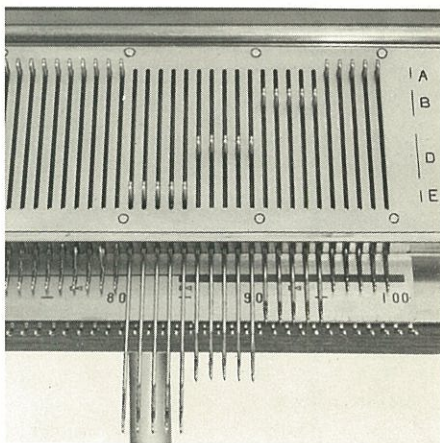


- (16) ケースフタの両端を手で持ってフタをします。



- (17) ケース錠前をかけます。

**編む前の知識** ……(編針の位置)



★ミゾ板には、A、B、D、Eの各位置の刻印があります。

各位置は編針の状態を表わしています。

A位置…キャリジを操作しても編めません。

B位置…普通この位置で使用します。

D位置…模様編の場合の選針位置です。

E位置…引返し編に使う位置です。

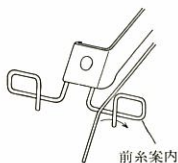
# 編み始め方



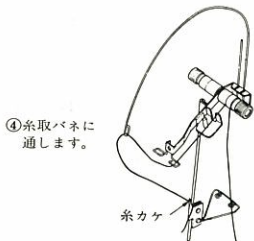
①後糸案内の①、②部分に外側から図のように通します。



②爪の内側に糸を通し、糸取調子皿にはさみます。  
▲に合わせておきます。

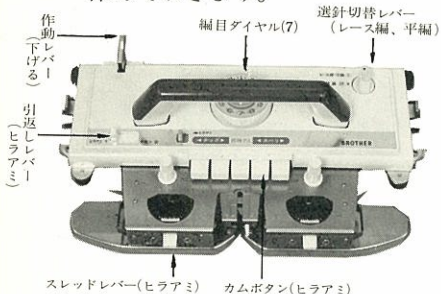


③前糸案内に図のように糸を通します。

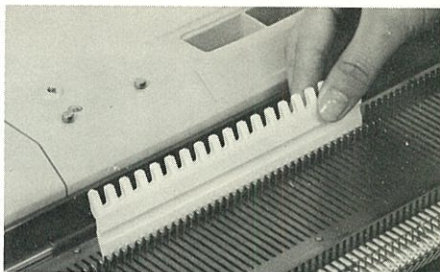


④糸取バネに通します。

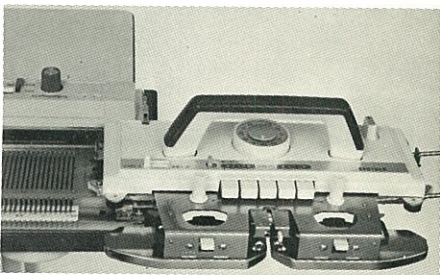
(1) 糸取装置に編糸を通して、糸カケに休めておきます。



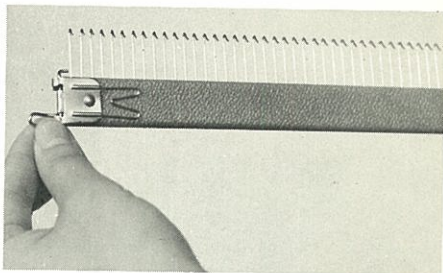
(2) キャリジを写真のようにセットします。(カムボタンをもどしたいときはヒラアミレバーを押して下さい)



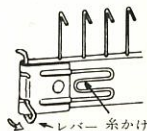
(3) 左30～右30の間の編針60目をB位置に出します。残りの編針はA位置に戻しておきます。

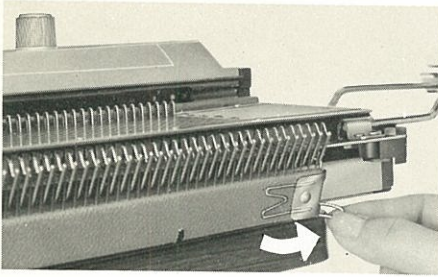


(4) キャリジを1～2回左右に動かし、ミゾ板の右端に置きます。

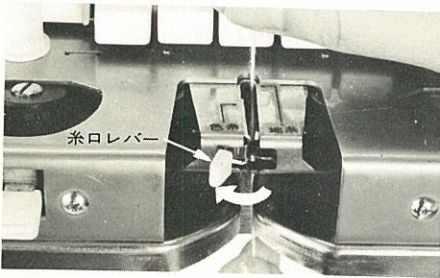
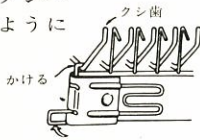


(5) 編出しをケースのフタから取り出し糸カケが手前になるように持ち、両端のレバーを手前に回します。

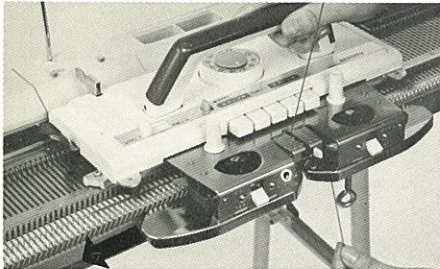




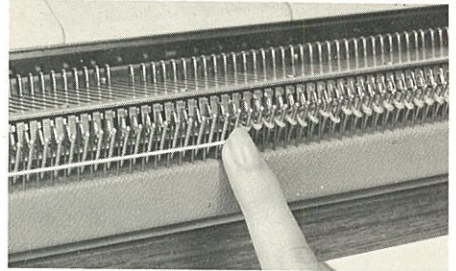
- (6) 左右共一番端のクシバにかけ、編出シの針がクシバより、内側になるようにします。



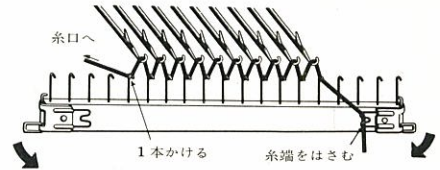
- (7) 編糸を糸掛けから外し、糸口レバーを矢印方向に押し、(地糸)側の糸口に編糸を通します。  
糸口レバーをもどします。



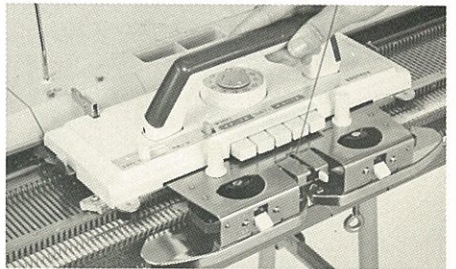
- (8) 糸端を指でつまみ、キャリジをゆっくり右から左へ動かします。  
編糸が編針にかかります。



- (9) かかり終わりましたら、左端の編針が前に出ないように指で押さえて、キャリジをミゾ板の左端迄動かします。



- (10) 編出シ両端のレバーを手前(矢印)にまわし、編出シを静かに引き下げ、かかり終りの糸を編出シのカギに1本だけかけます。

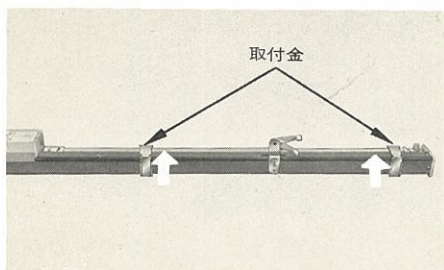


- (11) 編目ダイヤルを5に合わせます。キャリジを左右に動かしますと平編が編めます。

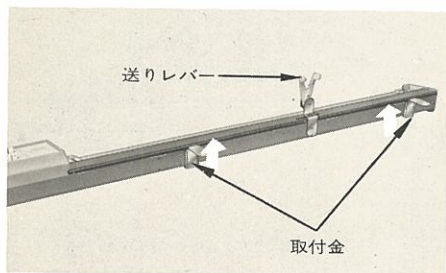
キャリジは途中で戻さないで下さい。  
糸のかかっている編針を完全に通過してから戻します。

# ニットリーダーの使い方

## ニットリーダーの取り付け方

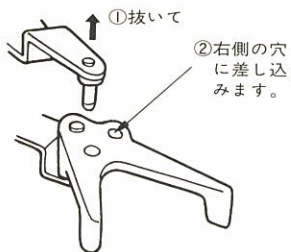


- (1) イ. ニットリーダーをリーダーケースから取り出します。  
ロ. 取付金を左右共矢印方向に引っぱって外します。

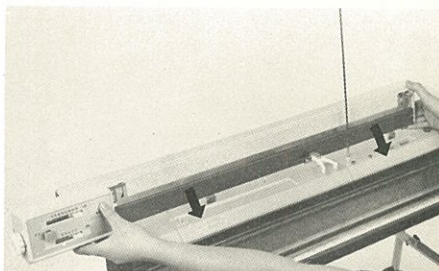


- (2) 取付金をニットリーダーの取付部に差し込みます。

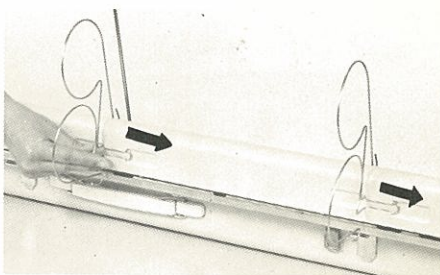
デリカ (KH-110) にこのニットリーダーを使う場合……



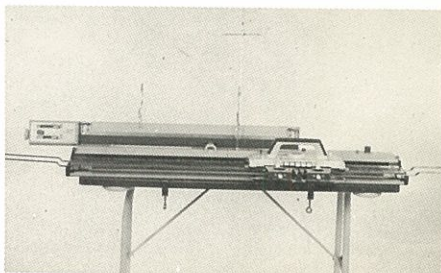
※別売のKH-110用取付台と取付金をご使用下さい。



- (3) ニットリーダーを本機の後側のリーダー取付金に差し込みます。

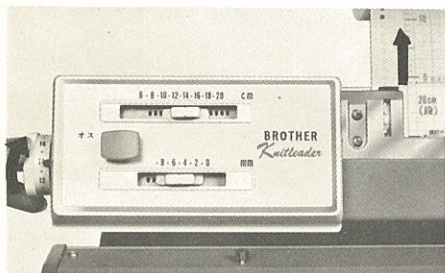


- (4) シートガイドを矢印方向へ押し込んでニットリーダーに取り付けます。

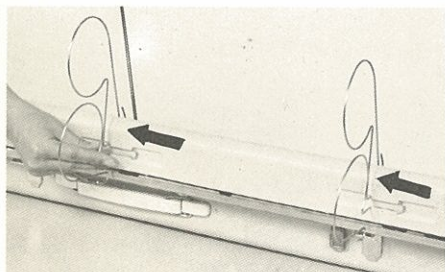


- (5) 本機にニットリーダーを取り付けた状態を示します。

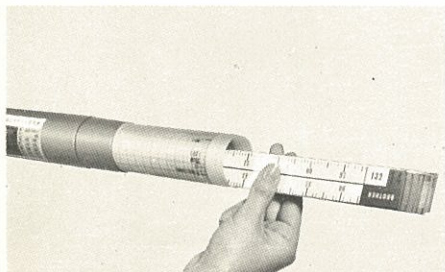
## ニットリーダーの取り外し方



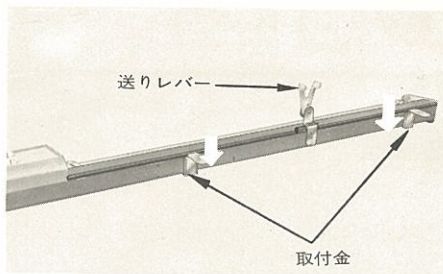
- (1) 送りダイヤルをまわしてシートをはずします。



- (2) シートガイドをはずします。

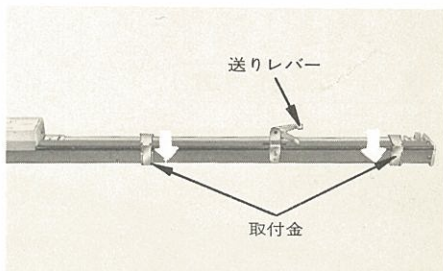


- (3) シートと編目スケールをシートケースにしまいます。

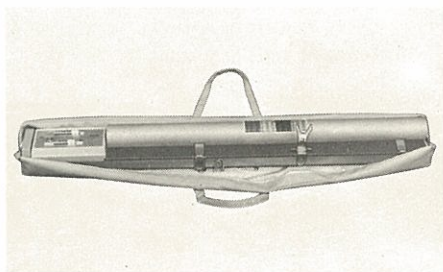


- (4) イ. ニットリーダーを本体からはずします。

ロ. 取付金を矢印方向に引っ張り、ニットリーダーからはずします。

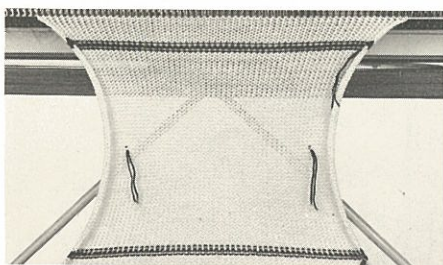


- (5) 取付金を逆向きにして差し込みます。



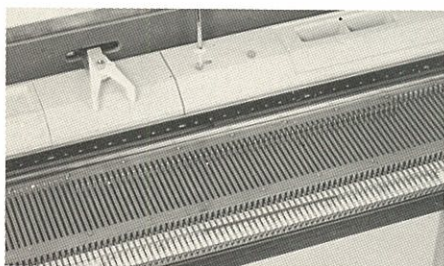
- (6) シートガイドの取付部を上にして、リーダーケースの中央に置き、その上にニットリーダーを上向きに置き、更にその上にシートケースをのせ、ファスナーをとじます。

## 編ゲージとは……

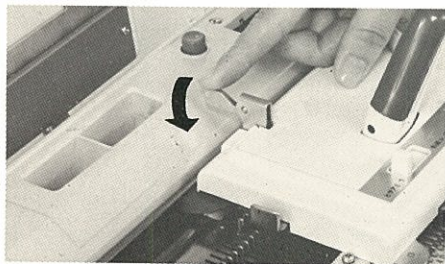


☆作品を希望の大きさに編み上げるためには、作品を編む糸で試し編地を編んで、編目の大きさを知る必要があります。ニットリーダーでは目数40目、段数60段の長さを計り、その長さを編ゲージとします。

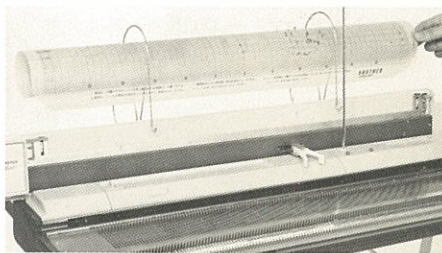
## 編ゲージの作り方



(1) ミゾ板の真中(0)を中心にして、左右30本の編針を出します。



(2) 9～10頁に従って編み出して4～6段編み、キャリジの作動レバーを下げます。

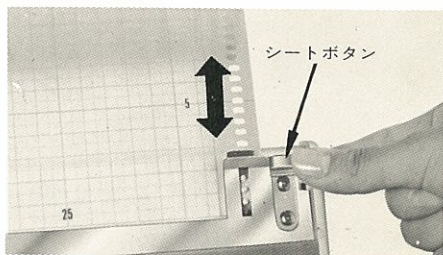


(3) シートケースからシートを取り出します。シートの表が外側になるように、シートの上(文字が書いてない方)から巻いて、シートガイドの上に入れます。  
※シートは文字が正しく見える方が表です。



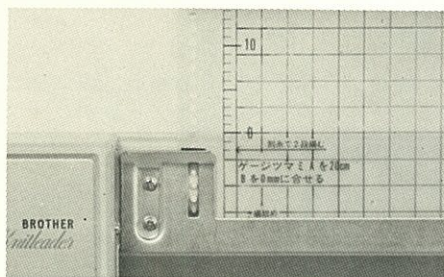
(4) シートの左下端を左のシート差し込み口に入れます。  
シートの左側の穴を送り歯に合わせて、送りダイヤルを2～3段まわします。

送りダイヤルは、送りレバーが倒れているときは、まわさないで下さい。

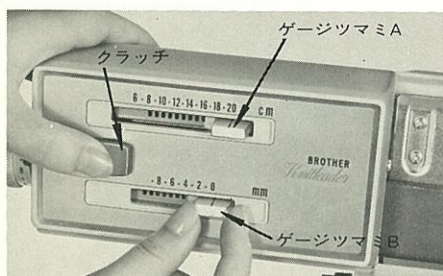


(5) 右端にあるシートボタンを押したまま、シートを上下に動かして傾きを直します。

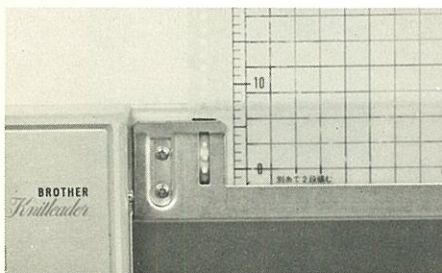




- (6) 送りダイヤルを回してシート左端の〔編始め〕線を写真のようにフレーム線に合わせます。

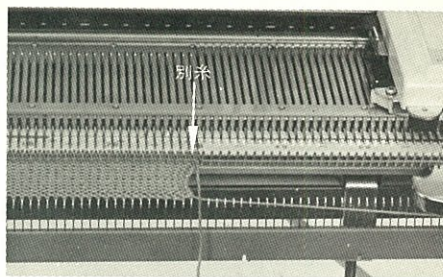


- (7) クラッチをいっぱい押し、ゲージツマミAを20、Bを0に合わせます。

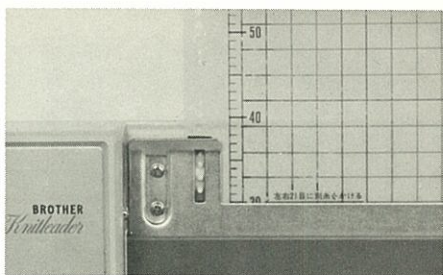


- (8) 編目ダイヤルを<sup>\*</sup>5に合わせ、シート左端の〔別糸で2段編む〕線とフレーム線が合う所まで編みます。

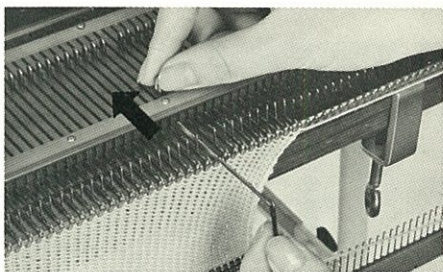
※実際には、作品の素材(毛糸)、好みにより編目ダイヤルの合わせ方が異なります。



- (9) 地糸口の編糸を外し、ミゾ板の端にかけて休めます。そして別糸(区別をつける為色の違った糸)を糸取装置から地糸口に通してから2段編みます。

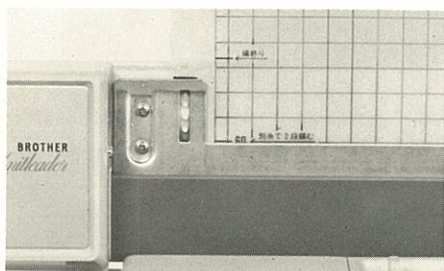


- (10) 地糸口の別糸を編糸にかえて、シート左端の〔左右21目に別糸をかける〕まで編みます。

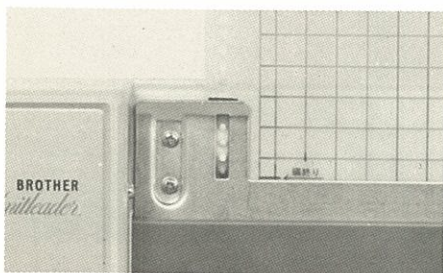


- (11) 左右21本目の編針を各1本ずつE位置に出します。

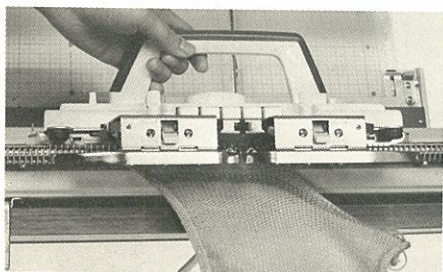
短かく切った別糸を編針のフックにかけてB位置にもどします。



- (12) シート左端の〔別糸で2段編む〕まで編み、地糸口から編糸を外してミゾ板の端に休めます。別糸で2段編みます。



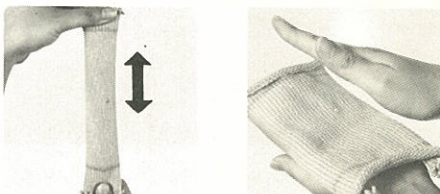
- (13) 地糸口の別糸を編糸にかえて、シート左端の〔編終り〕線まで編みます。



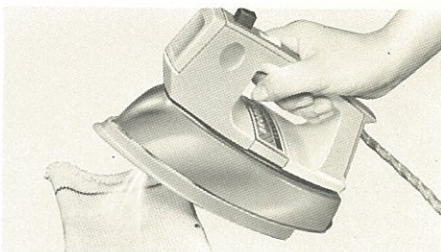
- (14) 編地から編出シを外し、地糸口から編糸を外してキャリジを動かしますと編地が外れます。

## 編ゲージの計り方

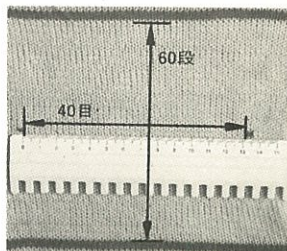
☆編機から外したままの編地は横に伸びていますので次のようにします。



- (1) 編地をタテに2～3回軽く引張ります  
(2) 軽く手でたたくようにして編目をもどします



- (3) スチームアイロンで蒸気を2～3分当てます。

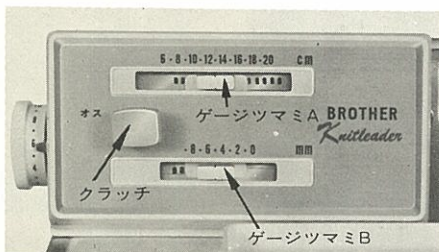


- (4) 編地が落ち着きましたら、編地の表を上にして机の上に置き、段数、タテ方向(別糸の内側60段)の長さが何センチ何ミリあるかを編地の中央付近で計ります。

また、左右21目の糸じるしの内側から内側までが何センチ何ミリあるかを計ります。

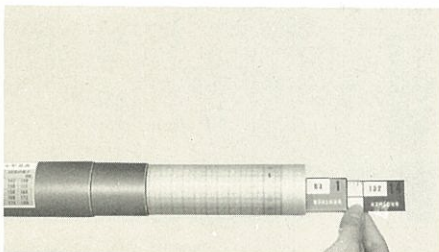
〔注意〕綿、麻、合繊などの糸は水を通して、自然乾燥させてから計って下さい。

## 編みゲージのセット方法

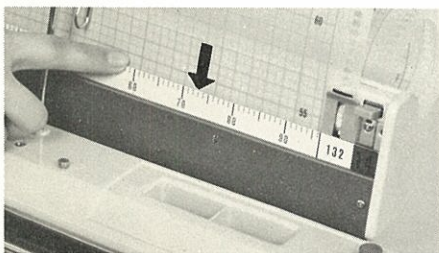


- (1) 編みゲージを計ったとき、例えば段数60段の長さが13センチ5ミリあったとします。

クラッチをいっぱいにしてゲージツマミAを目盛13に合わせてゲージツマミBを目盛5に合わせてクラッチをはなします。

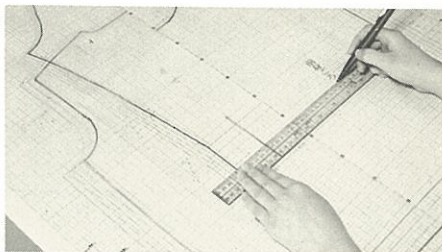


- (2) 目数40目の長さが13センチ2ミリであったとします。シートケースに貼ってある編目スケール早見表より、「14緑色」であることを知り、シートケースから「14」の編目スケールを抜き取ります。



- (3) 編目スケールを132の数字が右上になるようにして、編目スケール差し込み口に、下いっぱいまで差し込みます。

## 製図の写し方



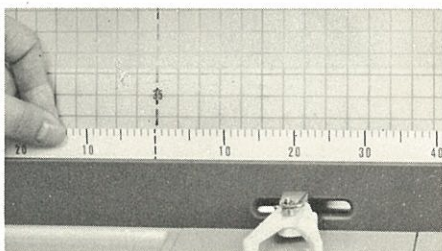
- (1) ニットリーダーの送りダイヤルを回して、ニットリーダーからシートを取り外します。別売りのブラザーホームニットングパターンを机におき、その上に表側を上にしたシートをのせます。

そしてシートの中心線をパターンの中心線に合わせて、付属のブラザーペンで正しく写します。

※シートは数字が正しく見える方が表です。

※編み始め線をシートの目盛5cmの線に合わせて下さい。

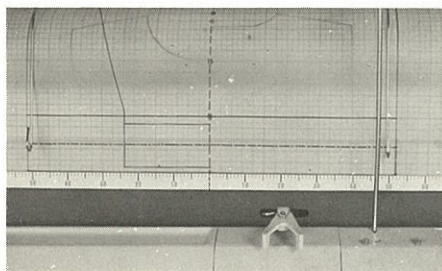
※間違ったときや、書き直したいときは、布に水を含ませて上から軽くふき落とします。



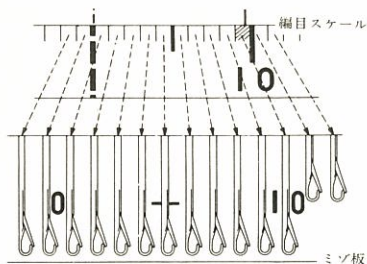
- (2) シートをニットリーダーにセットして、シートの中心線に編目スケールの中心線を合わせます。

ブラザーホームニットングパターンを各種取りそろえて別売りにしていますので、ぜひご利用下さい。最高のブラザー販売店または指定教室でお買い求め下さい。

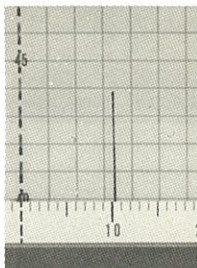
## 編目スケール目盛の読み方



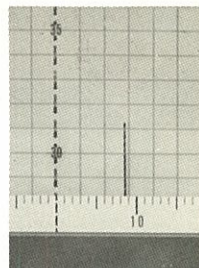
- (1) 送りダイヤルを手前側に回し、シート製図の編み始め線を編目スケール上端に合わせます。



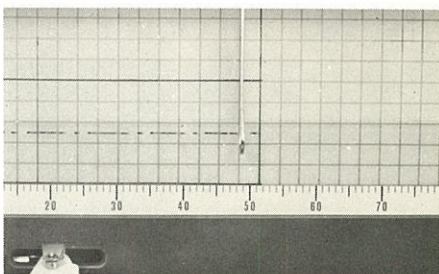
- ★編目スケール目盛は、ミゾ板の針に対応します。
- ★編目スケール目盛の数字は、ミゾ板の針番号(編目)を表わします。
- ★この場合の斜線の部分が10の針の領域を表わします。
- ※シートの製図線が編目スケール目盛の領域(斜線部分)よりプラス側に越えたら、増し目、マイナス側に越えたら減らし目をします。
- ★製図線が斜線内にある間は編目を増やしたり減らしたりせず、そのまま編み続けます。
- ※(0-10……100)間の-は5の針を示します。



- ★この場合は11と読み、11番目までの編針を出して編みます。



- ★この場合は9と読み、9番目までの編針を出して編みます。



- (2) 上の場合は52と読み、左右52本の編針を出します。

### こ 注 意

- (1) 編み幅がせまいときでも、キャリジは送りレバーを通過するまで動かして下さい。
- (2) シートが送り歯に食い込んだ場合は、送りダイヤルを逆方向へ回してシートをはずして下さい。
- (3) シートのよごれは、中性洗剤を布にしみこませてふきとって下さい。
- (4) シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないように注意して下さい。

# 模様編の編み方

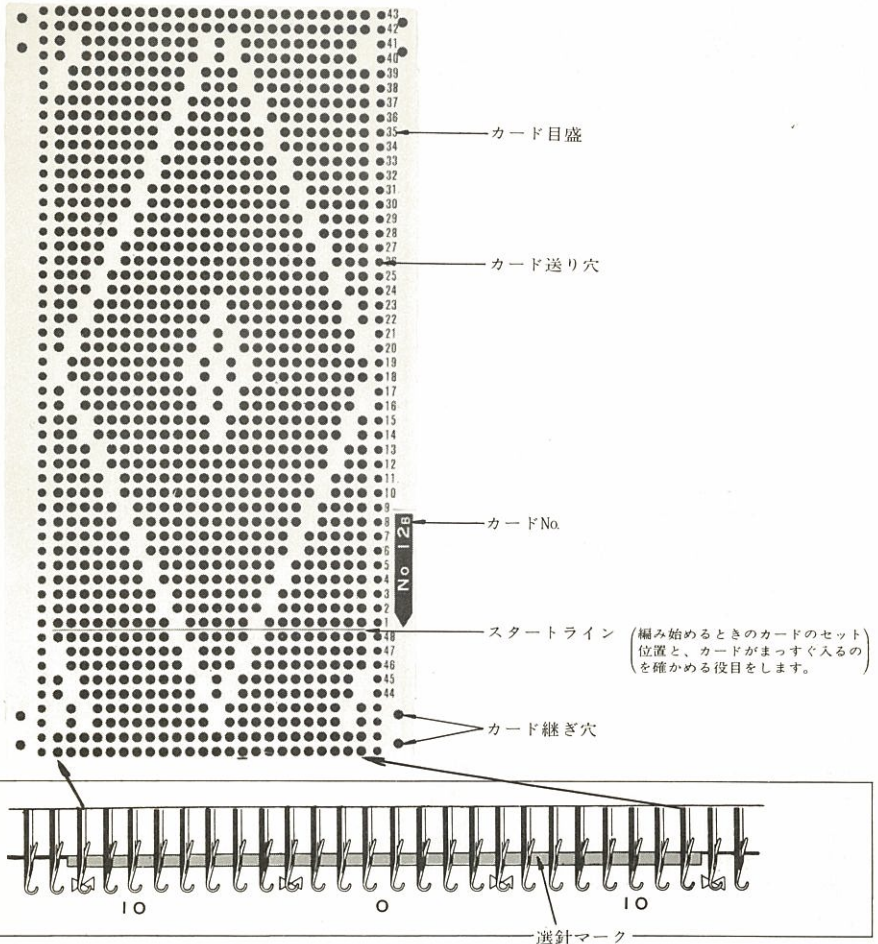
☆ブラザー編機バリエ<821>は、パンチカードの活用によりあらゆる模様を自由自在に編み上げます。

☆パンチカードは、一度セットすれば繰返し何回でも模様を編むことができます。

☆付属のパンチカードは、No.1B～No.20Bまでの20種類あります。

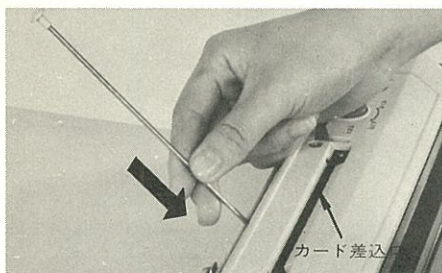
☆この説明書では20枚を使い52通りの模様を編んで見ました。

## パンチカードと編針の関係

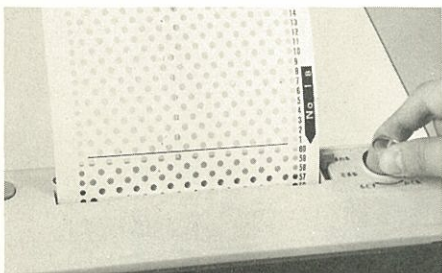


ミゾ板目盛板の選針マークの範囲（24針）が、目数方向の1模様になります。カードはミゾ板目盛0を中心に、左右12本の編針に対応し、穴のあいている部分が選針されます。

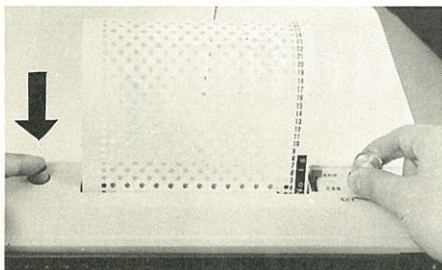
## パンチカードのセット方法



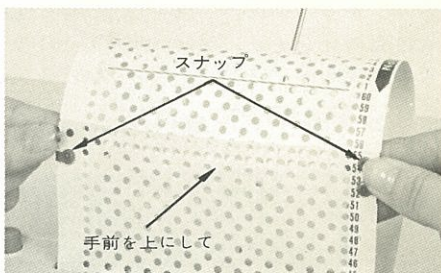
- (1) カード支えをカード差し込み口の後ろの穴に差し込みます。



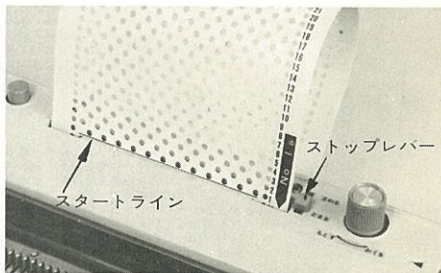
- (2) カードを差し込み口に直っす差し込み、送りつまみを押し下げて2～3ピッチ「おくる」方向にまわします。



- ※カード送りボタンを押すと、送りつまみが下がり、回わしやすくなります。



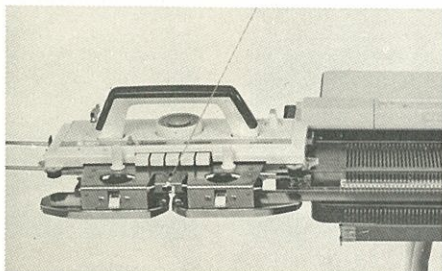
- (3) カードを巻き込み、付属のスナップでカードの両端をつなぎ合わせます。



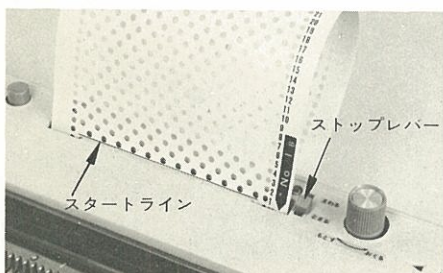
- (4) 送りつまみをまわしてカードをスタート位置に合わせ、ストップレバーを「とまる」にしておきます。スタートは、スタートラインとカード目盛「1」がパネル上端のすぐ上に見える位置です。

## 《模様編の準備》

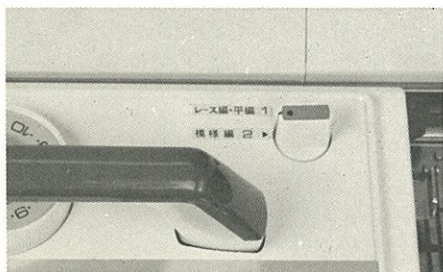
★模様編を編み始めるには次のようにします。



- (1) 最初に少し平編を編み、Kキャリジを左側に置きます。

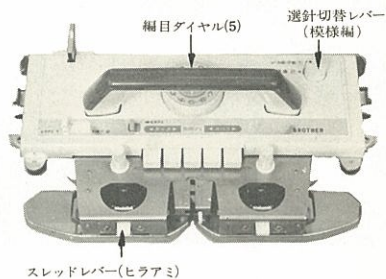


- (2) パンチカードを取り出してセットしスタート位置に合わせて、ストップレバーを「とまる」に合わせます。

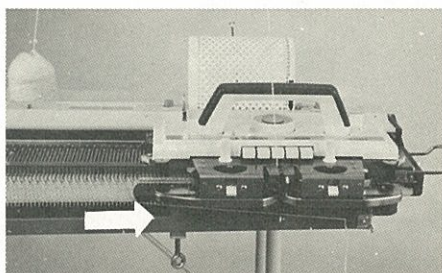


- (3) 選針切替つまみを「模様編」にします。

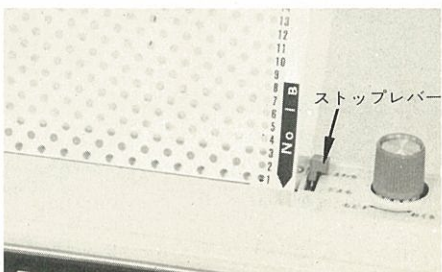
※レース編は34頁をご覧ください。



- (4) 編目ダイヤルを編む目盛に合わせます。  
※中細の場合は5～6が適当です。  
スレッドレバーを「ヒラアミ」にします。

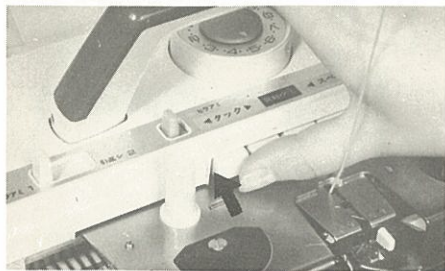


- (5) Kキャリジを左から右へ操作すると編針が選針されます。(このときパネル右端にKキャリジの進行方向とカードが1段送られたことを示す▶マークが出ます。)

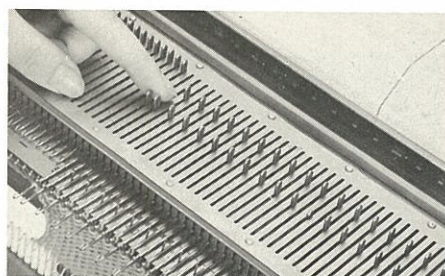


- (6) ストップレバーを「まわる」にします。

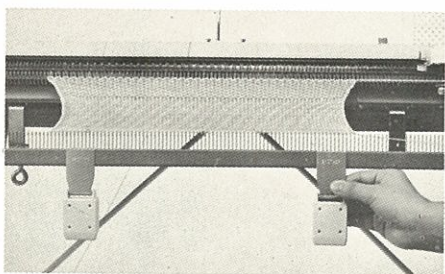
## タック編



☆模様編の準備が終了したら、カムボタンの**タック**左右を押して編みます。



☆編地の端針が選針されてないときは、編む前に**D位置**に針を出してから編みます。



※編地の端にカラーウェイトをかけておきます。

※カラーウェイトは編地が長くなったらかけなおして下さい。

カードNo. 1 B



糸……中細  
編目ダイヤル… 5  
1 模様 2 目 2 段

カードNo. 2 B



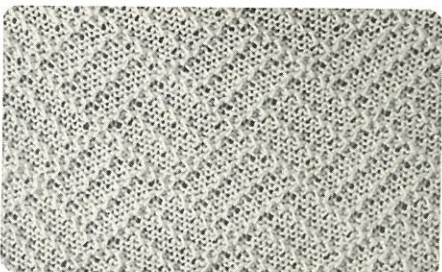
糸……中細  
編目ダイヤル… 5  
1 模様 2 目 4 段

カードNo. 4 B



糸……中細  
1 模様 3 目 24 段  
編目ダイヤル…… 4

カードNo. 5 B



糸……中細  
1 模様 12 目 24 段  
編目ダイヤル…… 5

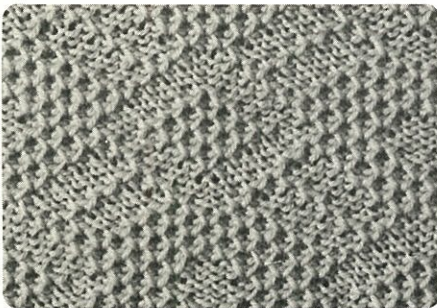


カードNo.6<sub>B</sub>



糸……中細                    1 模様24目48段  
編目ダイヤル……5

カードNo.7<sub>B</sub>



糸……中細                    1 模様24目48段  
編目ダイヤル……5

カードNo.9<sub>B</sub>



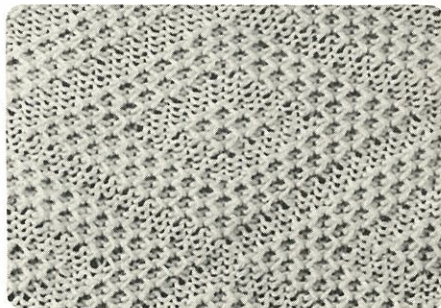
糸……中細                    1 模様24目24段  
編目ダイヤル……5

カードNo.10<sub>B</sub>



糸……中細                    1 模様24目48段  
編目ダイヤル……5

カードNo.11<sub>B</sub>



糸……中細                    1 模様24目48段  
編目ダイヤル……5

カードNo.12<sub>B</sub>



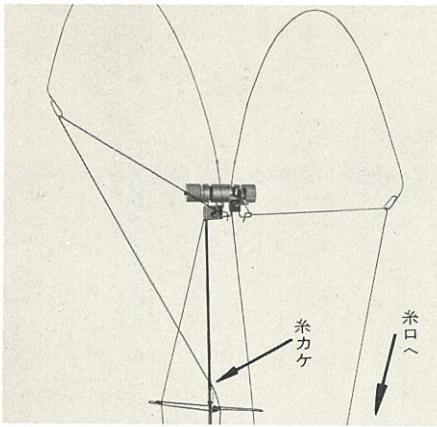
糸……中細                    1 模様24目48段  
編目ダイヤル……5

## 配色タック編

☆ 2色の糸を使い、地糸口の糸を2段毎に切替えながら編む模様です。

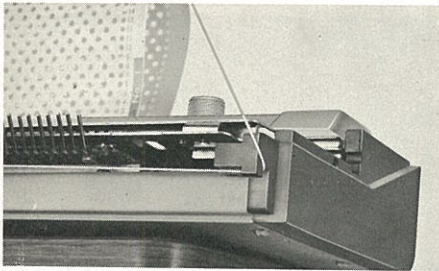
- (1) 模様編の準備が終了したら、カムボタンのタック左右を押します。
- (2) 地糸口の糸を、2段毎に切り替えながら編みます。

## 糸口糸の切り替え方



イ. 糸取装置に2本の糸を通しておきます。

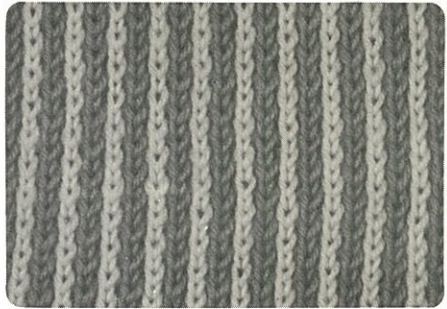
ロ. 最初に編む糸は糸口に通し、他の糸を糸カケにはさんでおきます。



ハ. 糸を切替えるときは、糸口の糸をはずし、本機の端にかけて休ませておきます。

次に編む糸を糸口に通して編みます。

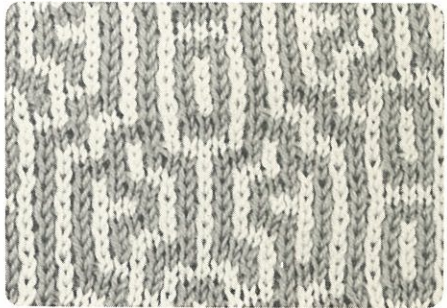
カードNo. 2<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 2目4段  
編目ダイヤル……5

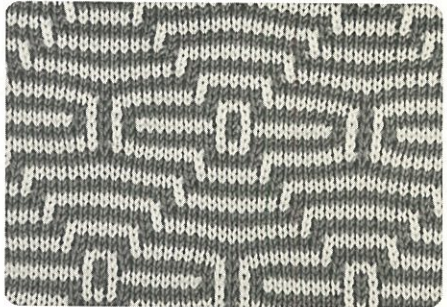
カードNo. 7<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 24目48段  
編目ダイヤル……5

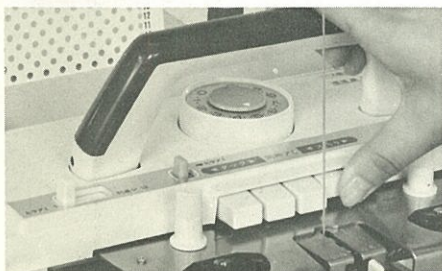
カードNo. 12<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 24目48段  
編目ダイヤル……5

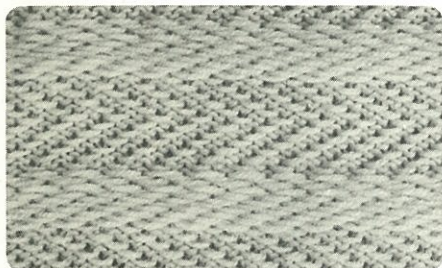
## すべり目編



☆模様編の準備が完了したらカムボタンのすべり左右を押します。

※編地の端針が選針されていないときは編む前にD位置に針を出してから編みます。

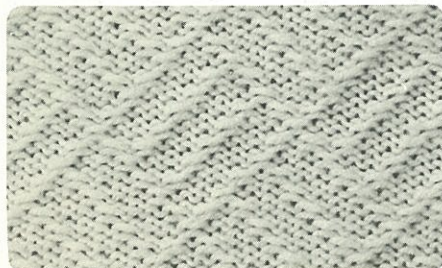
カードNo. 4<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 3 目 24 段  
編目ダイヤル……6

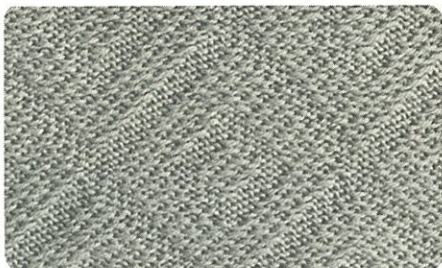
カードNo. 5<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 12 目 24 段  
編目ダイヤル……6

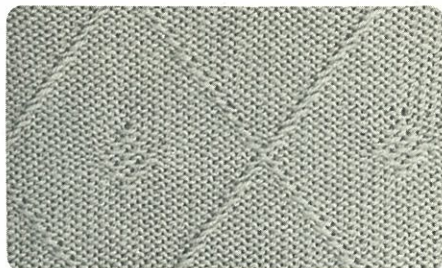
カードNo. 11<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 24 目 48 段  
編目ダイヤル……6

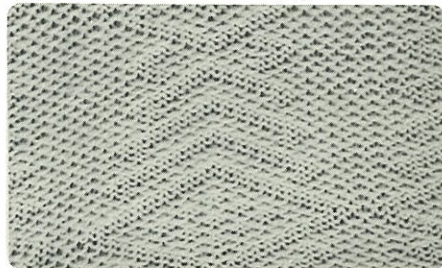
カードNo. 12<sub>B</sub>



糸……中細

1 模様 24 目 48 段  
編目ダイヤル……6

カードNo. 13<sub>B</sub>



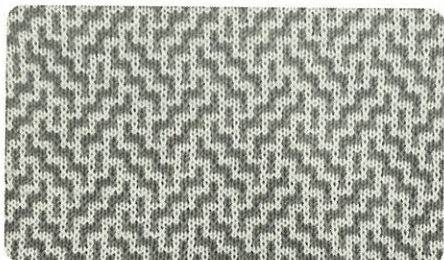
糸……中細

1 模様 24 目 60 段  
編目ダイヤル……6

## 配色すべり目編

- (1) 模様準備が完了したらカムボタンのスベリ左右を押します。
- (2) 地糸口の糸を2段毎に切り替えながら編みます。

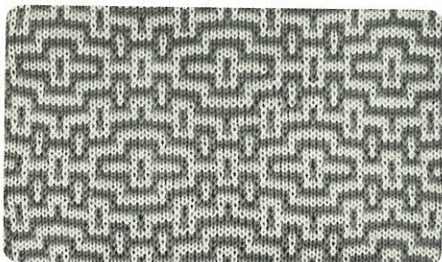
カードNo. 5 B



糸……中細

1 模様12目24段  
編目ダイヤル……6

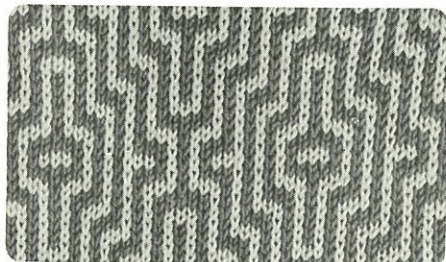
カードNo. 6 B



糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

カードNo. 11 B

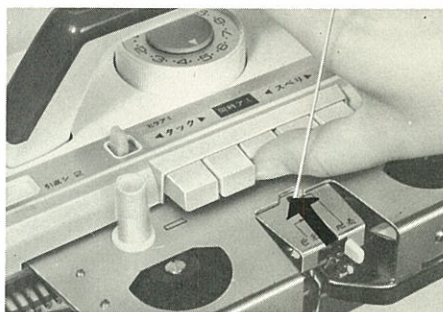
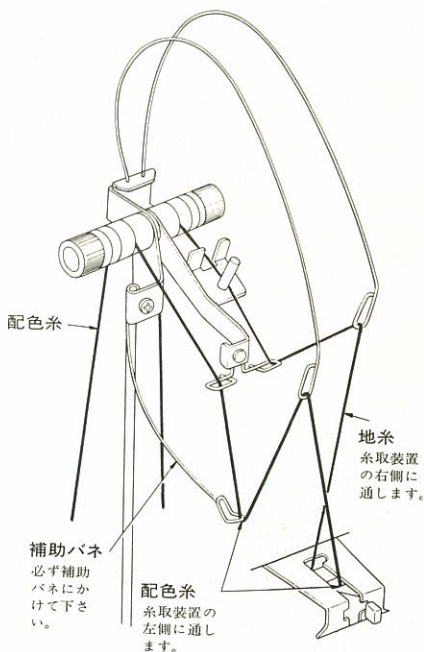


糸……中細

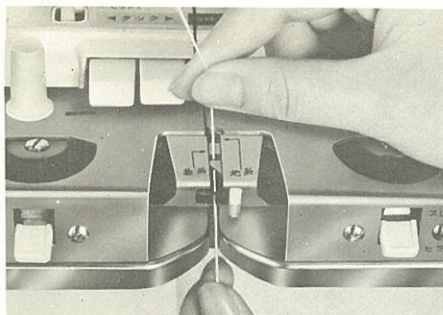
1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

## 同時編込模様

(同時編込模様を編むときは、必ず補助バネを使用して下さい。)



- (1) 模様編の準備が完了したら、カムボタンの同時アミを押します。



(2) 配色糸を左の図のように糸取装置に通し、色糸口に入れます。

※キャリジ側の編地の端針が選針されていないときは、編む前にD位置に針を出してから編みます。

カードNo. 1 B



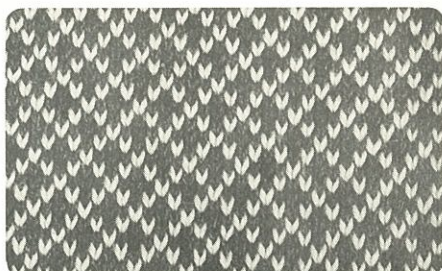
地糸……中細                    1 模様 2 目 2 段  
色糸……中細                    編目ダイヤル…… 6

カードNo. 2 B



地糸……中細                    1 模様 2 目 4 段  
色糸……中細                    編目ダイヤル…… 6

カードNo. 3 B



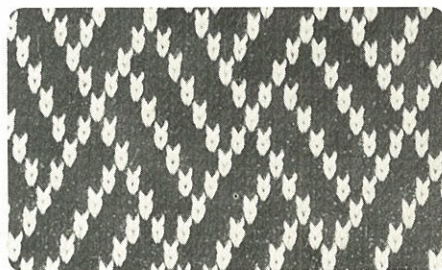
地糸……中細                    1 模様 4 目 4 段  
色糸……中細                    編目ダイヤル…… 6

カードNo. 4 B



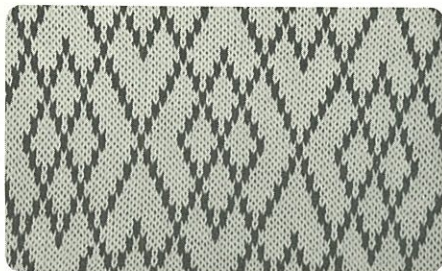
地糸……中細                    1 模様 3 目 24 段  
色糸……中細                    編目ダイヤル…… 6

カードNo. 5 B



地糸……中細                    1 模様 12 目 24 段  
色糸……中細                    編目ダイヤル…… 6

カードNo.6<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

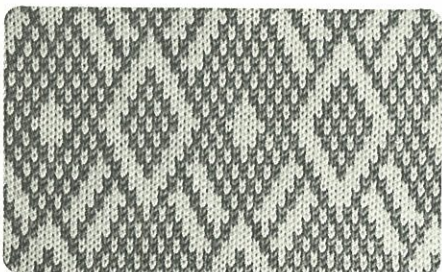
カードNo.9<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目24段  
編目ダイヤル……6

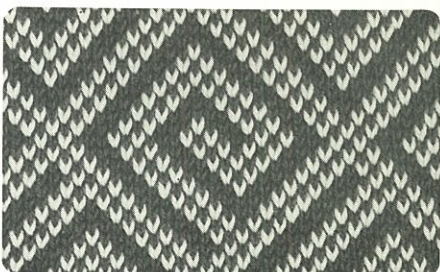
カードNo.7<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

カードNo.10<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

カードNo.8<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目24段  
編目ダイヤル……6

カードNo.11<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

カードNo.12<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目48段  
編目ダイヤル……6

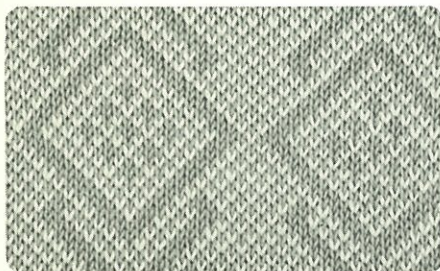
カードNo.15<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目60段  
編目ダイヤル……6

カードNo.13<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目60段  
編目ダイヤル……6

カードNo.16<sub>B</sub>



地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目60段  
編目ダイヤル……6

カードNo.14<sub>B</sub>



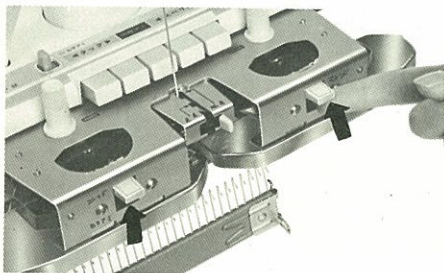
地糸……中細  
色糸……中細

1 模様24目30段  
編目ダイヤル……6

## スレッド編

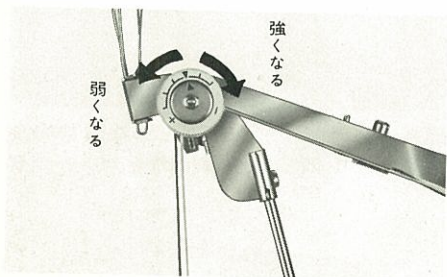
☆ スレッド編は、平編に別糸を織り込む編み方で、普通では編めない変わり糸でも織り込むことができます。模様編の準備が終了したら次のようにセッティングします。

- (1) 太い糸を使うときは、編目ダイヤルは平編より1～2目盛大大きくします。
- (2) カムボタンは、ヒラアミのまま編みます。



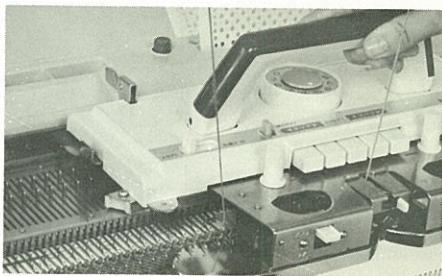
- (3) スレッドレバーを<スレッド>にします。
  - (4) 糸取装置にスレッド糸を通しておきます。
  - (5) スレッド糸の糸調子はマイナス側にします。
- ※編地の端針が選針されてないときは、編む前にD位置に針を出してから編みます。

## 糸調子の取り方



- ※プラス側に回すと強くなりマイナス側に回すと弱くなります。
- ※編糸に応じて調節します。中細毛糸は▼印に合わせます。並太・極太はマイナス側に合わせます。極細はプラス側にします。

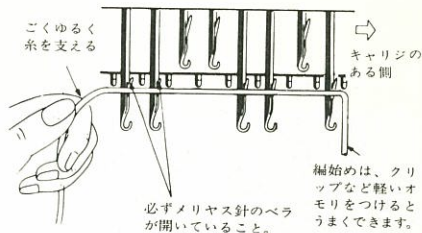
## スレッド糸の切り替え方



- (1) キャリジの糸案内からスレッド糸をはずし、反対側（進む側）にもってきてはなします。
  - (2) スレッド糸が糸案内に入るのを確かめてからキャリジ操作します。
- ※以下スレッド糸を左右に交換しながら編み進みます。

## 《スレッド糸が2色以上の場合》

- ★スレッド糸が2色以上の場合には、糸取装置の糸を切替えるか、手で先に渡しておきます。

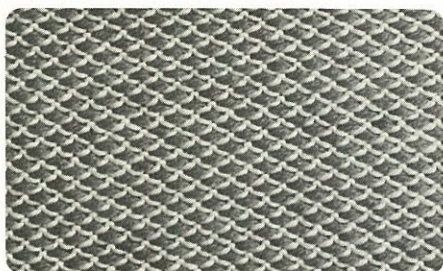


## （手で渡す場合は）

- (1) スレッド糸は必ずキャリジのある側から、クシ歯に近寄せて針の上に渡します。
- (2) スレッド糸の端は、糸がたるまない程度にゆるく支えます。



カードNo. 1<sub>B</sub>



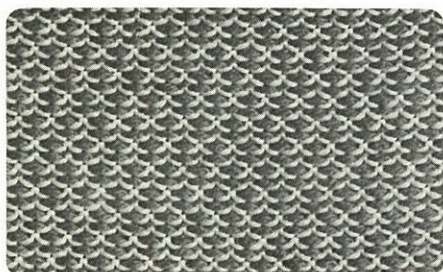
地糸……中細  
スレッド糸…並太  
1 模様 2 目 2 段  
編目ダイヤル… 6

カードNo. 4<sub>B</sub>



地糸……中細  
スレッド糸…極太  
1 模様 3 目 24 段  
編目ダイヤル… 7

カードNo. 2<sub>B</sub>



地糸……中細  
スレッド糸…並太  
1 模様 2 目 4 段  
編目ダイヤル… 6

カードNo. 5<sub>B</sub>



地糸……中細  
スレッド糸…極太  
1 模様 12 目 24 段  
編目ダイヤル… 7

カードNo. 3<sub>B</sub>



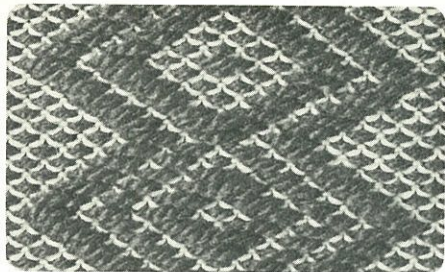
地糸……中細  
スレッド糸…並太  
1 模様 4 目 4 段  
編目ダイヤル… 6

カードNo. 7<sub>B</sub>



地糸……中細  
スレッド糸…極太  
1 模様 24 目 48 段  
編目ダイヤル… 7

カードNo. 8<sub>B</sub>



地糸……中細  
スレッド糸…極太  
1 模様24目24段  
編目ダイヤル…7

カードNo.11<sub>B</sub>



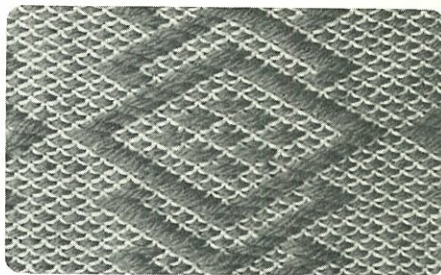
地糸……中細  
スレッド糸…極太  
1 模様24目48段  
編目ダイヤル…7

カードNo. 9<sub>B</sub>



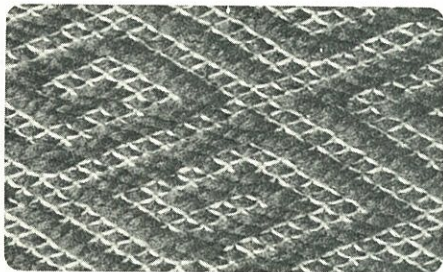
地糸……中細  
スレッド糸…並太  
1 模様24目24段  
編目ダイヤル…6

カードNo.13<sub>B</sub>



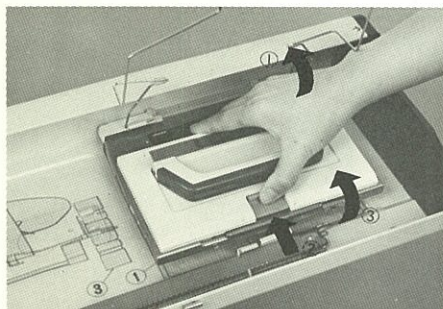
地糸……中細  
スレッド糸…中細  
1 模様24目60段  
編目ダイヤル…6

カードNo.10<sub>B</sub>

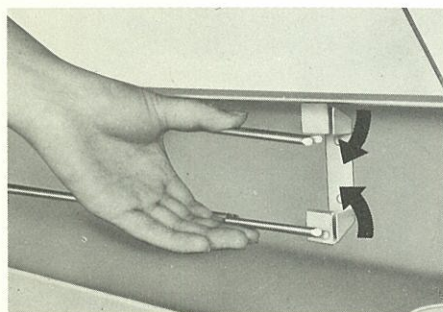


地糸……中細  
スレッド糸…並太  
1 模様24目48段  
編目ダイヤル…6

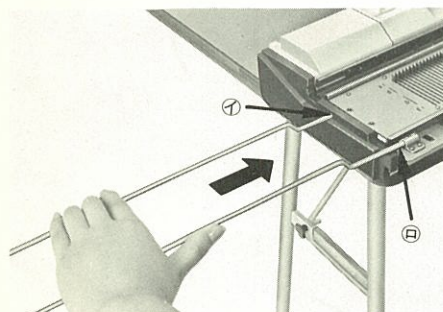
## Lキャリジの使い方



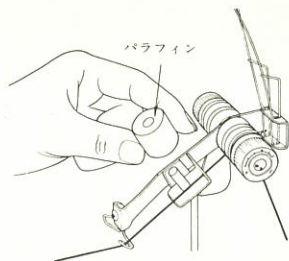
- (1) ケースフタからLキャリジを取り出しハンドルを起します。



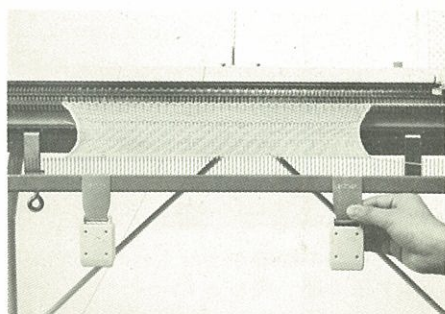
- (2) 補助レールをケースフタから取り出します。



- (3) 補助レールを①、②の部分に差し込み取り付けます。



- (4) レース編をするときはパラフィンを糸取装置に取り付けます。



- (5) レース編をするときは、編出シにカラーウェイトを平均にかけて下さい。

使用糸	ダイヤル目盛
極細毛糸	4 ~ 5
中細毛糸	5 ~ 6
綿・化繊レース糸	4 ~ 5

- (6) レース編の場合は、編目ダイヤルを上表のように合わせます。

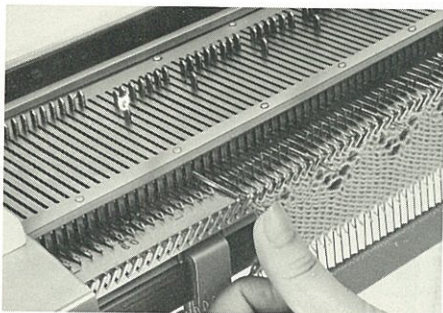


(編めない)

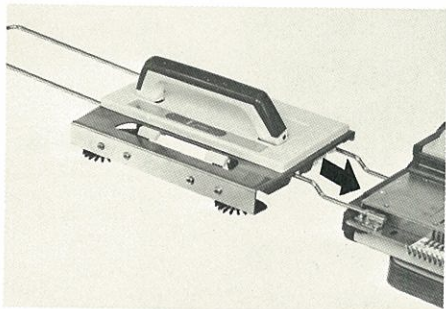


(編める)

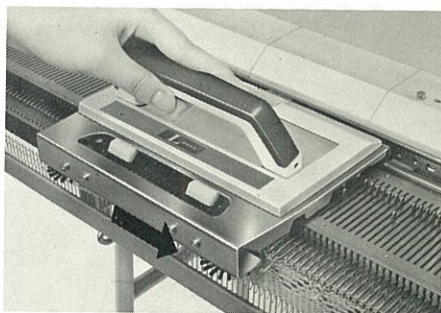
- (7) レース編の場合、編針を2本以上並んで選針しますと編めません。



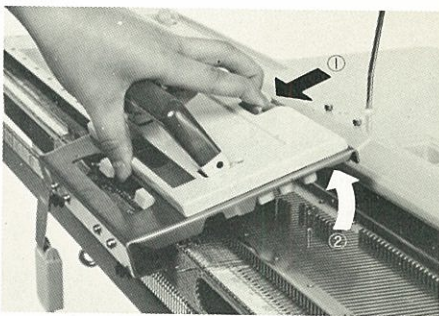
- (8) 一番端の編針が選針されたときは、必ず指で押し戻します。  
(そのまま編みますと編目が落ちたり、編幅が減ったりします。)



- (9) Lキャリジの取り付け方  
一旦左の補助レールに正しくのせてから、ミゾ板に滑り込ませて下さい。



- (10) Lキャリジはゆっくり動かして下さい。Lキャリジが途中で動かなくなった場合は39ページをご覧ください。

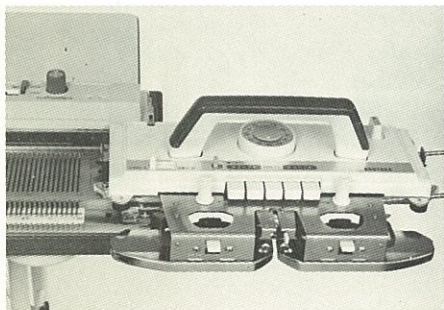


- (11) Lキャリジは、外しボタンをいっぱい押せばミゾ板の途中からでも外すことができます。

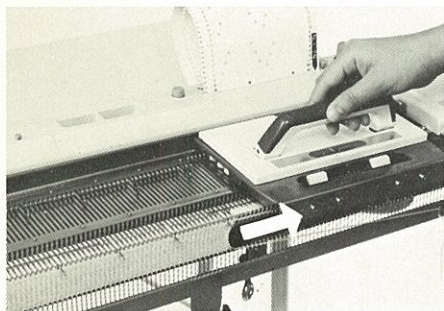
## 《レース編の準備》

- (1) 最初に少し平編を編み、Kキャリジを右側におきます。

※レース編の場合は、Kキャリジの選針切替ツマミを必ず〈レース編・平編〉に切替えて下さい。

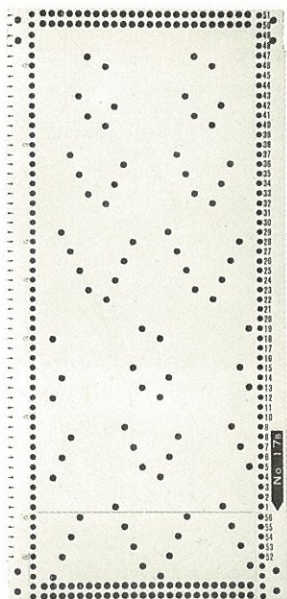


- (2) カードをセットして、スタート位置に合わせ、ストップレバーをくどまる〉に合わせます。



- (3) Lキャリジを左から右へ一回動かしますと、編針が選針されます。  
 (4) ストップレバーをくまわる〉に合わせます。  
 ※これで準備は終了です。

後はパンチカードの左端の矢印に従って、LキャリジとKキャリジを操作します。



- カードの赤い矢印はLキャリジを動かす方向を示します。  
 矢印の示す方向にLキャリジを操作して下さい。(カードが進みます。)
- 矢印CはKキャリジを一往復する(2段編む)ことを示します。  
 Cがパネルと一致したときは、KキャリジをLキャリジより先に操作します。

※ Kキャリジを動かすときは、必ずLキャリジが左に来たときですから、キャリジを途中で外したり、入替えの必要はありません。

※ Lキャリジは途中で戻さないで下さい。糸のかかっている編針を完全に通過してから戻します。

レース模様

カードNo.17<sub>B</sub>



糸……中細  
1 模様12目14段  
編目ダイヤル……5

カードNo.18<sub>B</sub>



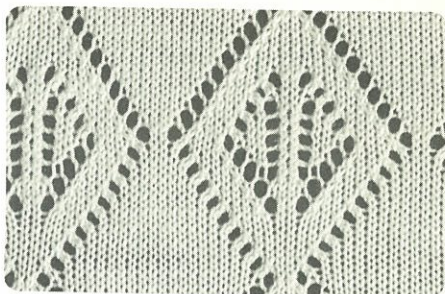
糸……中細  
1 模様12目8段  
編目ダイヤル……5

カードNo.19<sub>B</sub>



糸……中細  
1 模様24目24段  
編目ダイヤル……5

カードNo.20<sub>B</sub>



糸……中細  
1 模様24目36段  
編目ダイヤル……5

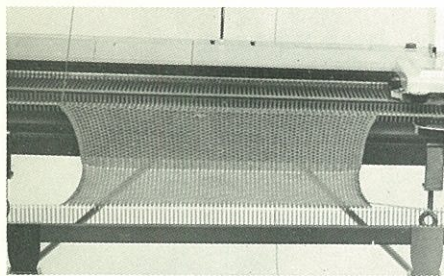
## 模様編を編み間違えたときの直し方

### パンチカードが送られている場合

(キャリジが編地の途中にある場合)

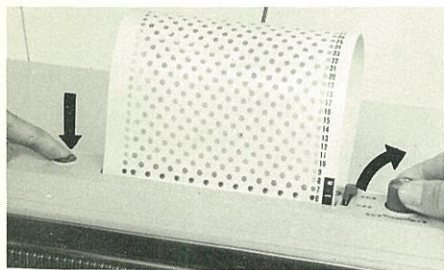
★指示マークがキャリジの進行方向になっているときは、カードが1段送られています。

- (1) ストップレバーを〈とまる〉にします。
- (2) キャリジを外し、進行側の編地のない部分におきます。(38ページをごらん下さい。)
- (3) ベラ抜けしている編目をフックにもどしてから編針をB位置に揃えます。



- (4) 糸口の糸をはずして編目を解きます。(38ページをごらん下さい。)

1・3・5…段と奇数段数をといて糸端がキャリジの反対側になるようにします。編針をB位置に揃えます。



- (5) パンチカードを編目を解いた段数だけ戻します。

※カード送りボタンを押しながら送りツマミを〈もどす〉方向にまわします。

- (6) カムボタンのスベリ左右を押します。
- (7) キャリジを糸端のある側へ動かします。(選針されます。)
- (8) カムボタンを模様編の状態にセットしストップレバーを〈まわる〉にします。
- (9) 糸口に糸を入れて編みます。

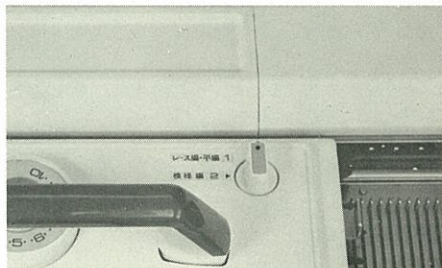
(キャリジが編地の手前にあるとき)

- (1) ストップレバーを〈とまる〉にします。
- (2) 編針をB位置に揃え、糸口の糸をはずして編目を解きます。  
1・3・5…段と奇数段数を解いて糸端がキャリジの反対側になるようにします。(編針をB位置に揃えます。)
- (3) パンチカードを、編目を解いた段数+1段だけでもどします。
- (4) カムボタンのスベリ左右を押します。
- (5) キャリジを糸端のある側へ動かします。(選針されます。)
- (6) カムボタンをセットし、ストップレバーを〈まわる〉にします。
- (7) 糸口に糸を入れて編みます。

### パンチカードが送られていない場合

編目を解いた段数だけパンチカードをもちます。

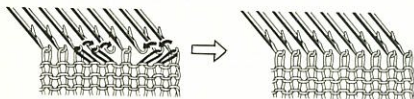
※編地の外で編地押エに糸がからんだときは、編地押エだけをはずし、キャリジは動かさないで下さい。



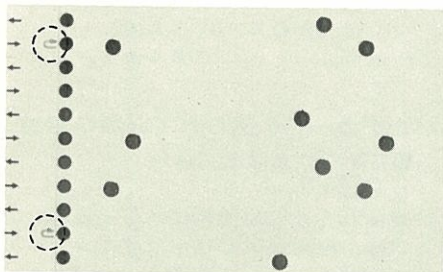
※選針切替ツマミが模様編の時に、Kキャリジを左右に動かすと編まなくてもカードは送られますので、Kキャリジを空操作したい場合は選針切替ツマミを〈平編〉にして下さい。

## レース編を編み間違えた時の直し方

- (1) L キャリジを操作して左側へ置きます。



- (2) 移った編目がある場合はウツシを使って元の針に戻します。  
(平編の状態になります。)
- (3) 編目を2段解きます。  
(糸端は右側になっています。)



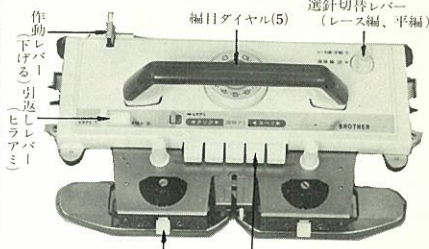
- (4) カードを一つ前のCマークの処までもどします。

(2)~(4)をくり返して希望の部分まで編地を解きもどします。

再び編む場合は、K キャリジを一往復動かしてから、L キャリジをカード通りに操作します。

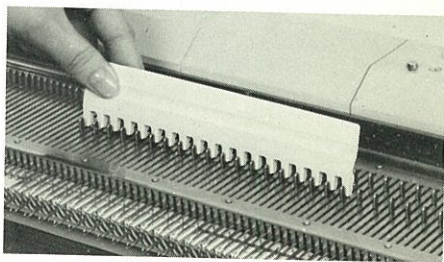
## 編出シを使わないで編始める方法

- ☆スレッド編装置を利用します。  
選針切替レバー (レース編、平編)

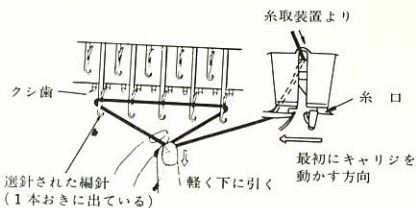


スレッドレバー (スレッド) カムボタン (ヒラアミ)

- (1) キャリジを写真のようにセットします。
- (2) 編針をB位置に出しキャリジをミゾ板の左側におきます。



- (3) 模様板を使い、編針をD位置に出します。



- (4) 編糸を地糸口に通し、地糸口から出ている編糸を選針されている編針フックの上に渡して指でささええます。
- (5) 編糸をごく軽く下に引きながら、キャリジをゆっくり動かして4~5段編みます。

※スレッド編以外を編む場合はスレッドレバーを <ヒラアミ> にします。



# 知っておきたいことから

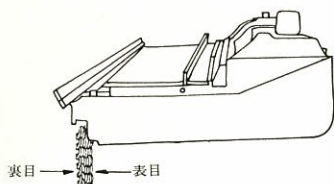
## 編地の表と裏



(平編の表目)

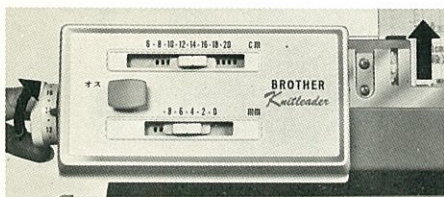


(平編の裏目)

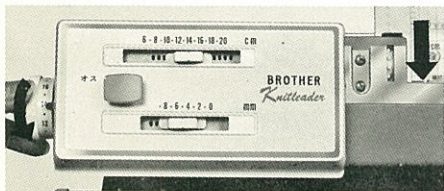


★編んでいるとき、手前に見える面を裏目、向こう側になっている面を表目と言います。お好みによって、表目、裏目のいずれも作品として用います。

## 編みまちがえたときのニットリーダーの取り扱いと正しい直し方



(1) 編みまちがえた段数だけ編地をほどきます。ほどいた段数だけ、送りダイヤルを向こう側に回しシートを戻します。更に3段余分に送りダイヤルを戻します。



(2) すぐに余分にもどした3段だけ、ダイヤルを手前側に回し、巻き取ります。

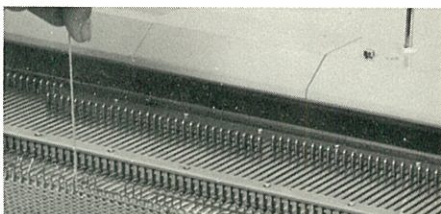
## 編んでいる途中でキャリジが動かなくなったとき……



無理に動かさずキャリジをはずして編み直して下さい。

- (1) キャリジの選針切替ツマミを「平編」に合わせたのち、編地押エをはずします。
  - (2) 左右のキャリジ外シレバーをいっばいに開いてからキャリジを手前に持ち上げてはしません。
  - (3) キャリジをミゾ板の端からレールに乗せ、キャリジ外シレバーをもどします。
  - (4) 編地押エを取り付けます。
  - (5) 途中まで編んだ編目を解きます。  
(編地のほどき方をごらん下さい。)
- (注意) キャリジが正しくレールに乗っていることを確かめてから編み始めて下さい。

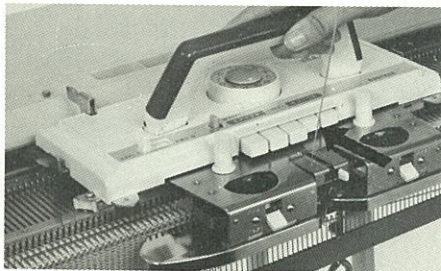
## 編地のほどき方



編み終り側の編糸をクシ歯の線に平行に引いて編目を引き絞り、編糸を斜め上に引張って編糸をフックからはずすようにしますと、前の段の編目が自然に編針のフックにかかります。

(注意) 糸端がキャリジと反対側になる場合は、必ずキャリジの作動レバーを上げてから、空送りして下さい。

## Kキャリジを空送りしたいとき……



編針は、B位置に戻します。  
(編目がペラ抜けた所は、ウツシを使ってB位置に戻します。)

平編の場合……

スベリ左右のカムボタンを押せば、編まないで空送りできます。

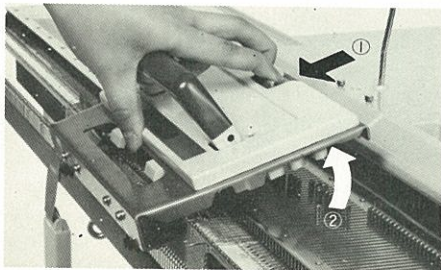
選針されている編針がD位置の場合は…選針された編針をB位置に戻しておいて下さい。

編針がE位置にある場合は……引返しレバーを2<引返し>に切替えて下さい。

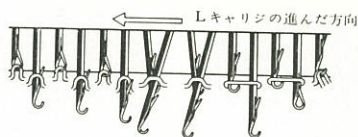
## 編んでいる途中でLキャリジが動かなくなったとき……

☆無理に動かさないで下さい。

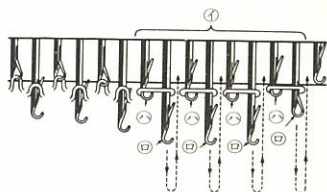
- (1) ストップレバーを<とまる>にします。



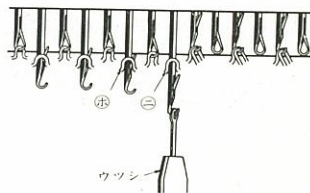
- (2) Lキャリジをその位置で外します。  
編針等に引っかかっているときは、よく見て無理のないように外して下さい。
- (3) Lキャリジを進行側の補助レールにはめます。



- (4) 2本重なっている編針がありましたら、針先を指で持ち上げて外して下さい。



- (5) 編目が2本の編針にかかっている部分①は前に出ている編針②を矢印のように前に出してから、編針①と共にB位置まで押し下げますと、編目が移ります。



- (6) ②のように針ペラの向こうにある編目をウツシを使って①のように針ペラの上に戻します。
- (7) 出ている編針を全部B位置に戻しておきます。
- (8) カードを1段戻します。
- (9) Lキャリジを1回動かします。  
(選針されます。)
- (10) ストップレバーを<まわる>にします。  
これで元の状態に戻っていますからLキャリジの操作を続けて下さい。

### 間違っ て選針されたとき……

模様編のとき、間違っ て選針される場合は、次の項目を調べて下さい。

#### 1. パンチカードが傾むいて入っているとき……

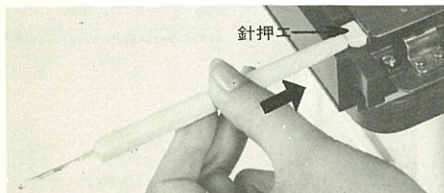
こんな場合は、カードを正しく入れ直して下さい。

#### 2. 編針が曲っているとき……

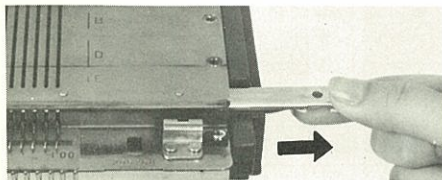
間違っ て選針されている編針をE位置まで出し、曲っているようなら取り替えて下さい。

### 編針が曲ったとき……

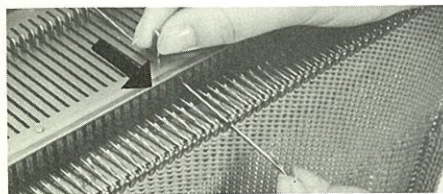
(編んでいる途中でも交換できます)



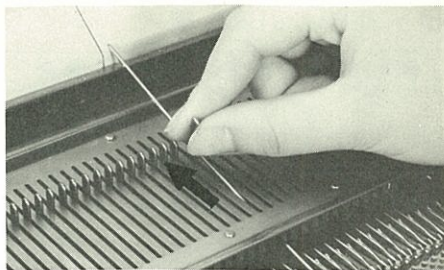
- (1) 針押エを片方からミゾ板の中へ押し込みます。



- (2) 反対側に出た針押エを引き抜きます。(針押エの端が、取り替えたい編針から外れるところまで抜いて下さい。)

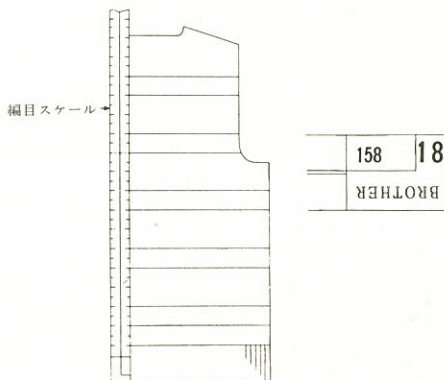


- (3) 取り替える編針を針ミゾの一番手前に引き出し、フック部分を下に押しすと、シャンクがミゾ板の上に出ます。



- (4) 編針のシャンクかバットをつまんで後へ引き抜きます。  
 (5) 新しい編針のペラを開いて、はずしたときと逆の順序で入れて下さい。  
 ※針押エを差しこむときは、編針のフック側を順々に押し下げながら差し込んで下さい。

### 編目スケールの段数への応用



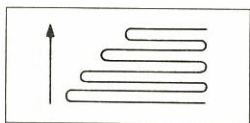
48ページの編目スケールを段方向に使うときの早見表を参照し、使用する編目スケールを選びだします。

例えば段縞模様するとき、60段の長さが、11.8cm(118 $\mu$ m)としますと、48ページ表より、(赤18の158)のスケールを取り出し、段方向にあてて段縞の目盛をシート of 製図にかいて下さい。線に従って糸を交換しますときれいな段縞ができます。

# 各種模様の引返し編

## 1. 平編の引返し編

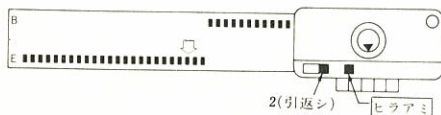
### 編む部分を減らして行く場合



☆かたさがり、そでやまなど傾斜した編地を編むときに使います。

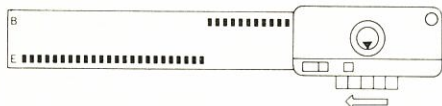
☆引返しシレバーを2〈引返し〉に合わせます。

☆選針切替ツマミを1〈平編〉に合わせます。



(1) キャリジと反対側の休める部分の編針を、E位置に出します。

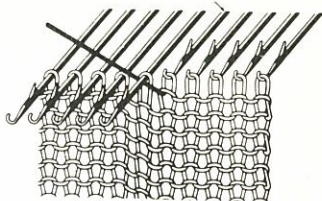
(注意) 編針の数は、カーブや傾斜の形によって変わります。



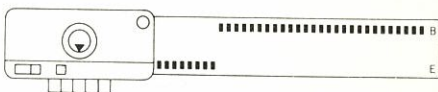
(2) 一段編みます。

B位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に糸が渡ります。

編み終り針



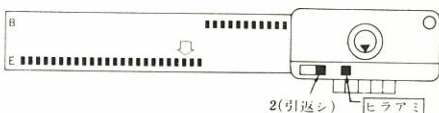
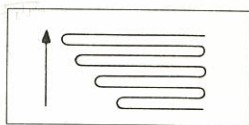
(3) 引き返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置の編針に、下側から渡った糸をくぐらせます。



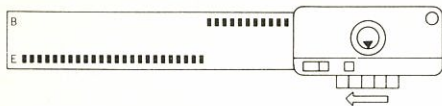
(4) キャリジを引返して一段編みます。休める編針を増しながら(1)、(2)、(3)、(4)をくり返しますと、引返し編ができます。

※引返し編が終って、全体の編針を編みたいときは、引返しシレバーを1〈ヒラアミ〉に切り替えて編みます。

### 編む部分を増して行く場合

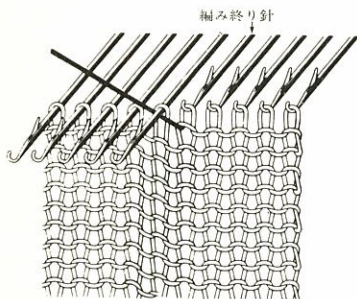


(1) キャリジと反対側の、休める部分の編針をE位置に出します。

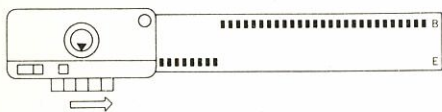


(2) 一段編みます。

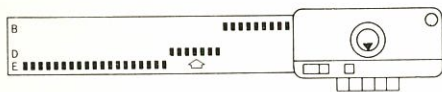
B位置の編針が編めて、E位置に出した編針の上に糸が渡ります。



(3) 引き返した部分に穴ができないようにするため、編み終りのとなりのE位置の編針に、下側から渡った糸をくぐらせます。



(4) キャリジを左から右へ、一段編みます。



(5) 次に編むE位置の編針をD位置に押し下げます。(2)~(5)をくり返しますと、最後に全部の編針がB位置に並び、引返し編ができます。

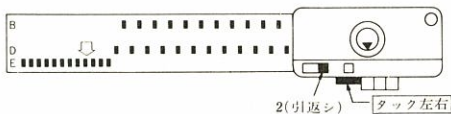
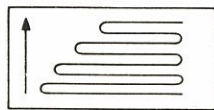
## 2. 総タック編の引返し編

ここでは総タック編で、2段毎に引き返す場合の説明をします。

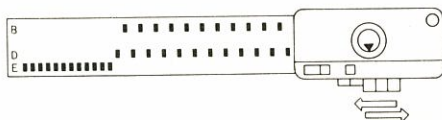
タック左右のカムボタンを押し、引返しレバーは2〈引返し〉にします。

No.1のパンチカードをセットしておきます。

### 編む部分を減らして行く場合



(1) キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。

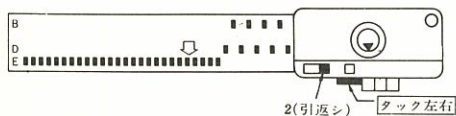
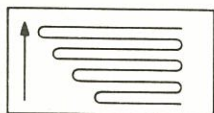


(2) 2段編みます。

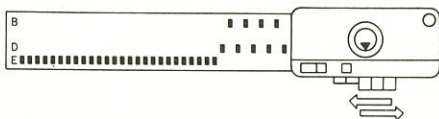
(一段編んだとき、E位置の端の編針に編糸をかけて下さい。平編の引返しと同じ操作をします。)

(1)~(2)を繰り返します。

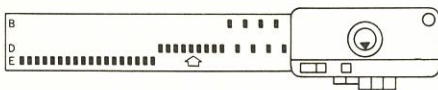
## 編む部分を増して行く場合



- (1) キャリジと反対側の休める部分の編針をE位置に出します。

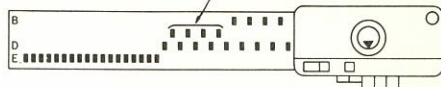


- (2) 2段編みます。  
(一段編んだとき、E位置の端の編針に編糸をかけて下さい。)



- (3) 次の編む部分の編針をD位置に押し下げます。

編目をフックの中へ戻す針



- (4) 模様に合わせて、B位置まで押し下げる編針の編目を、ウツシを使ってフックの中にもどします。  
(3)~(4)を繰り返します。

## 3. 同時編込模様・すべり目編・スレッド編の引返し編

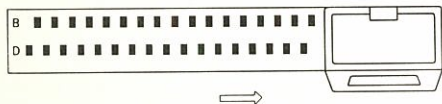
- (1) キャリジの引返しシレバーを2<引返し>に切り替え(他はその編み方のまま)休める部分の編針をE位置に出します。  
(2) 一段編みます。  
(3) 引き返す部分に穴ができないように編糸(配色糸も)を編み終りの隣りのE位置の針にかけます。  
(4) 一段編みます。

(編む部分を増して行く場合は、総) (タック編の引返し編をご覧ください。)

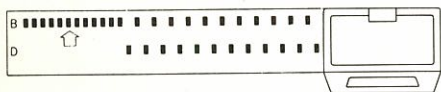
#### 4. レース編の引返し編

引返しレバーを1<ヒラアミ>にします。  
スベリ左右のボタンを同時に押します。  
編目ダイヤルを次の表によって合わせ直します。

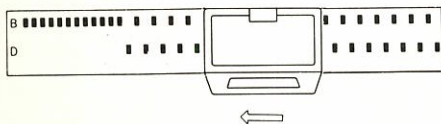
今まで合わせてあった目盛	合わせ直す目盛
4	5
5	6
6	7



(1) Lキャリジを操作し、選針します。

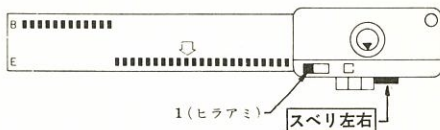


(2) 選針された編針の内、編まない部分の編針をB位置に戻し揃えます。

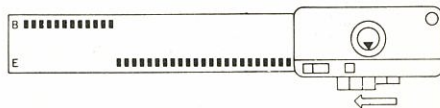


(3) パンチカードの矢印方向にLキャリジを動かします。

※パンチカードにLキャリジの操作がつづいているときは、矢印に従って(2)、(3)を繰り返し操作します。



(4) 編む部分の編針を全部E位置に出します。



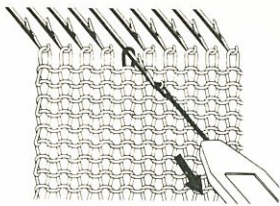
(5) パンチカードの方向にKキャリジを1回だけ動かします。

※パンチカードのKキャリジの操作が2段以上のときは(4)、(5)をその段数だけくり返します。

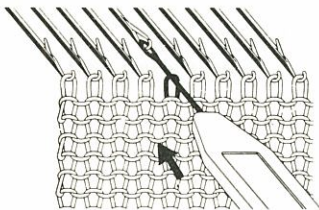
(引き返した部分に穴ができないようにするため、キャリジを引返す前に、編み終りの隣りの編針フックに糸をかけて下さい。)

# 編目の移し方・減らし目・増し目

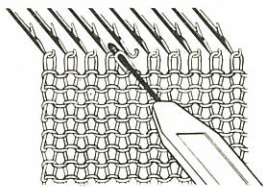
## 1. ウツシの使い方



- (1) 編針フックにウツシの穴をかけて、矢印の方向に引き、編目をベラの向うに移します。



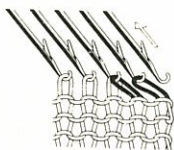
- (2) 逆に押しと編目は、ウツシに移ります。



- (3) 移したい編糸フックにウツシの穴をかけ、編目を編針に移します。

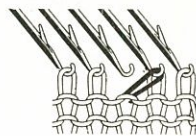
## 2. 減らし目

### 端から1目内側の減らし目

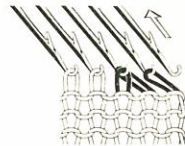


- ☆2本針のウツシを使って、端から2目を移し取り内側にずらします。

### 2目立てる減らし目



- (1) 端から3番目の編目を移し取り、2番目に重ねます。



- (2) この2目を一度に空針になった3番目の針に移します。次に端の編目も2番目に移します。

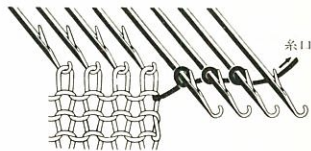
## 3. 増し目

### 1目立てる増し目



- (1) 端の1目をうつとり、1目外側にずらせます。  
 (2) 2番目の1段下のループをウツシで引き上げ空針にかけます。

### 1度に2目以上の増し目

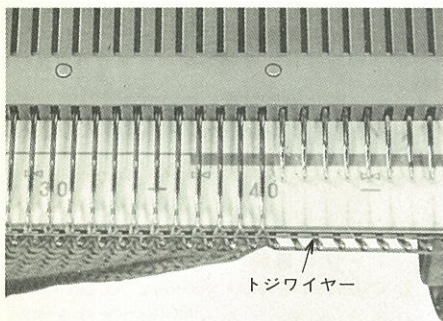


キャリジのある側で増し目するときに使います。

- ☆増し目する編針をE位置に出し、巻き目し、最後の目は編針を出すだけで編みます。



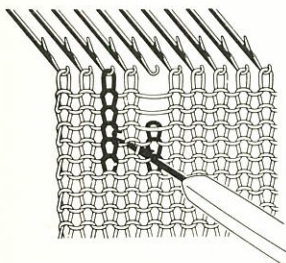
#### 4. 1目ゴム編



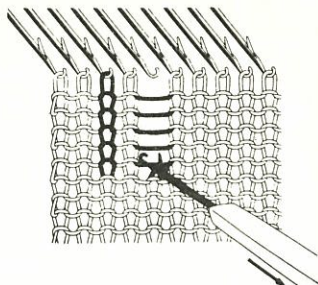
- (1) クシ歯とメリヤス針の間の編目が渡っている上にトジワイヤーを乗せます。



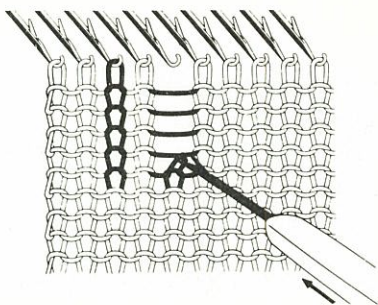
- (2) トジワイヤーがメリヤス針の下になるようにメリヤス針をクシ歯より少し前の位置まで出します。



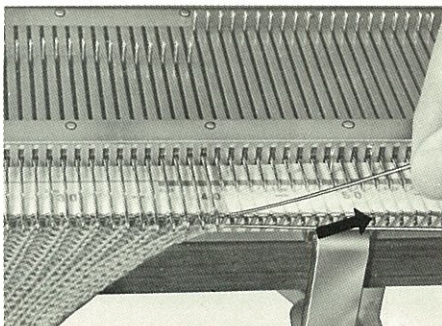
- (3) 裏目に直す編目の少し上までとき、裏目の始めの編目にタッピを入れ、編地を下に引き、残りの編目をときます。



- (4) タッピの編目をベラの後に移し、上の段の横糸をフックにかけ、タッピを引いて編目を作ります。



- (5) さらに上の横糸の下にタッピを差し込みます。  
(4)・(5)をくり返し、最後の目を編針に掛けます。



- (6) 1目ゴム編が終了したらトジワイヤーを引き抜きます。

# 手入れと保存

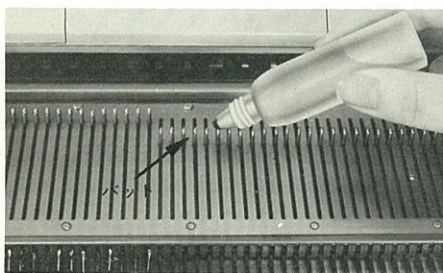
## 注油

☆編む前に軽く注油しましょう。



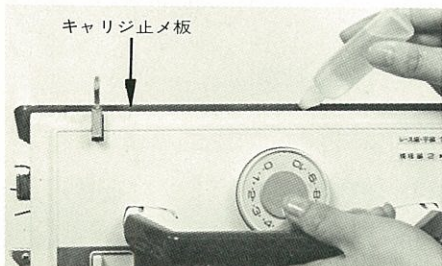
※油は必ず付属のブラザー編機用をご使用下さい。

☆キャップをはずし、胴を軽く押しますとハケに油がしみ出ますから、塗りつけるようにして注油します。



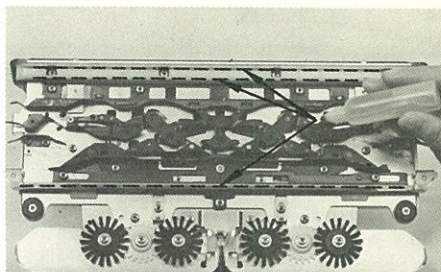
### (1) 編針のバット

編針をB位置に並べ塗ります。



### (2) キャリジ止め板

布でふいてからキャリジ止め板に塗ります。



### (3) キャリジ裏側

布でよごれをふいてから、写真の点線の部分(側面)とカム部分に塗ります。

## 保存

(1) しまうときは、手バケ・布などでよくほこりを除き、金属部分に、付属の油またはミシン油をうすく塗ります。色のついている部分(ケース、キャリジカバーなど)のよごれは、中性洗剤などを布にしみこませてふきとります。

★シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリンなどは使わないように注意して下さい。湿気のないところを選んで保存します。

(2) 長く保存しておいてから、再び使用するときは、一度油のついた布でよく拭き注油してから使用します。

最初は古い毛糸で軽く20~30段平編をしますと、古い油がとれて作品をよごすこともありません。

# 編目スケールを段方向(段数)に使うときの早見表

ゲージツマミ を合せた位置			使用する 編目スケール			ゲージツマミ を合せた位置			使用する 編目スケール			ゲージツマミ を合せた位置			使用する 編目スケール		
			数字	番号	色				数字	番号	色				数字	番号	色
60 *	*	80	80	*		90 *	*	120	120	*	80	168	*	112		*	
61 *	*	81	81	*	1	91 *	*	121	121 122	*	81	169 170	*	113		*	9
62 *	*	83	83	*		92 *	*	123	123	*	82	171	*	114		*	
63 *	*	84		*		93 *	*	124	124 125	*	83	172 173	*	115		*	
64 *	*	85		*	2	94 *	*	125	126	*	84	174	*	116		*	
65 *	*	87		*		95 *	*	127	127 128	*	85	175 176	*	117		*	10
66 *	*	88		*		96 *	*	128	129	*	86	177	*	118		*	
67 *	*	89		*	3	97 *	*	129	130 131	*	87	178 179	*	119		*	
68 *	*	91		*		98 *	*	131	132	*	88	180	*	120		*	
69 *	*	92		*		99 *	*	132	133 134	*	89	181 182	*	121		*	11
70 *	*	93		*	4	100 *	*	133	135	*	90	183	*	122		*	
71 *	*	95		*		101 *	*	135	136 137	*	91	184 185	*	123		*	
72 *	*	96		*		102 *	*	136	138	*	92	186	*	124		*	
73 *	*	97		*	5	103 *	*	137	139 140	*	93	187 188	*	125		*	12
74 *	*	99		*		104 *	*	138	141	*	94	189	*	126		*	
75 *	*	100		*		105 *	*	140	142 143	*	95	190 191	*	127		*	
76 *	*	101		*	6	106 *	*	142	144	*	96	192	*	128		*	
77 *	*	103		*		107 *	*	142	145 146	*	97	193 194	*	129		*	13
78 *	*	104		*		108 *	*	144	147	*	98	195	*	130		*	
79 *	*	105		*	7	109 *	*	146	148 149	*	99	196 197	*	131		*	
80 *	*	107		*		110 *	*	146	150	*	100	198	*	132		*	
81 *	*	108		*		111 *	*	148	151 152	*	101	199 200	*	133		*	14
82 *	*	109		*	8	112 *	*	150	153	*	102	201	*	134		*	
83 *	*	111		*		113 *	*	150	154 155	*	103	202 203	*	135		*	
84 *	*	112		*		114 *	*	152	156	*	104	204	*	136		*	
85 *	*	113		*	9	115 *	*	154	157 158	*	105	205 206	*	137		*	15
86 *	*	115		*		116 *	*	154	159	*	106	207	*	138		*	
87 *	*	116		*		117 *	*	156	160 161	*	107	208	*	139		*	
88 *	*	117		*	10	118 *	*	158	162	*	108	209	*	140		*	
89 *	*	119		*		119 *	*	158	163 164	*	109		*			*	
									165	*	110		*			*	
									166 167	*	111		*			*	

※印の場合は編目スケールの1目盛を2段と読みます。


## 1. 編目スケールの選び方

60段の編ゲージの長さから、上の表をみて編目スケールを選びます。

## 2. 編目スケールで段数を知る方法

製図の編み方向に編目スケールをたてにして、総段数・部分段数を知ることができます。

**BROTHER**  
**ブラザー**

 ブラザー工業株式会社・ブラザーマシン販売株式会社